



令和 4 年 度

施策と予算の概要

～新しい時代をリードする「やさしい未来都市」の実現～

東 広 島 市

令和4年度 施策と予算（案）の概要

もくじ

1	第五次東広島市総合計画の策定と推進	1
2	社会・経済環境の変化	2
3	計画推進のための政策、組織、予算の連動	2
4	予算（案）の規模とポイント	4
5	主な財政指標の状況	7
6	今後の財政運営	7
7	重点施策	8
	（1）命と暮らしを守る体制の整備	9
	（2）仕事と生活価値を創造する基盤づくり	10
	（3）誰ひとり取り残さない多様性と調和社会の実現	12
	（4）多彩な地域の特徴を生かしたまちづくり	14
	（5）時代を担う子どもを育てる教育・保育の推進	16
	（6）持続可能な次世代環境都市の構築	17
8	予算編成上のポイント	
	（1）新型コロナウイルス感染症への対応	18
	（2）生活関連事業の加速化	19
	（3）地域別計画の着実な推進～活力が湧き出す9つの地域～	20
9	主要な施策の概要	
	（1）第五次総合計画の2つの理念	25
	① SDGs 未来都市の実現	25
	② DXの活用	29
	（2）まちづくりの5つの柱	33
	① 仕事づくり	33
	② 暮らしづくり	37
	③ 人づくり	41
	④ 活力づくり	45
	⑤ 安心づくり	51

【資料編】

1	会計別予算の規模	55
2	一般会計歳入の款別内訳	56
3	一般会計歳出の款別内訳	58
4	一般会計歳出の性質別内訳	60
5	第五次総合計画のまちづくり大綱に掲げる施策を推進する予算	62
6	第五次総合計画のまちづくり大綱における主な事業	64

令和4年度東広島市水道事業会計予算（案）の概要	74
-------------------------	----

令和4年度東広島市下水道事業会計予算（案）の概要	77
--------------------------	----

1 第五次東広島市総合計画の策定と推進

- ・令和2年3月に第五次東広島市総合計画を策定し、「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市」の実現に向け、「世界に貢献するイノベーション創造のまち」「暮らし輝き笑顔あふれる生活価値創造のまち」を目指して果敢にチャレンジすることとしている。
このため、「仕事づくり」「暮らしづくり」「人づくり」「活力づくり」「安心づくり」の5分野の基本計画に基づき、積極的に施策を展開する。
- ・特に、誰一人取り残さない持続可能な社会を目指すSDGsの理念は、世界共通の価値観であり、総合計画の根底を流れる理念として位置付け、その達成に向けては、DX（デジタルトランスフォーメーション）をはじめとする先端技術の活用を積極的に推進する。
- ・市内の9つの地域について、それぞれの地域資源を活かしたまちづくりを進めるため、目指すべき方向性である「地域別計画」を掲げた。これを基に、市民の意見を反映させた地域別のアクションプログラムを策定することで、地域の誇りを創出し、活力の湧き出る地域づくりを推進する。

◆将来都市像

「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市」

～住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島～

◆目指す方向性

「世界に貢献するイノベーション創造のまち」

- ▶大学を中心とした高度な研究開発機能を活かして革新的な技術やアイデアを次々と生み出すことで、世界の様々な課題解決に貢献する

「暮らし輝き笑顔あふれる生活価値創造のまち」

- ▶豊かな自然環境を享受しながらその地域に誇りを持ち、自己実現のための快適な生活をおくる

◆まちづくり大綱(5つの柱)

- ①仕事づくり～知的資源と産業力で多様な仕事生まれるまち
- ②暮らしづくり～自然と利便性が共存する魅力的な暮らしのあるまち
- ③人づくり～誰もが夢を持って成長し活躍できるまち
- ④活力づくり～学術研究機能や多様な人材の交流から新たな活力が湧き出すまち
- ⑤安心づくり～自助・互助・共助・公助によって安心した生活を送れるまち

◆地域別計画

市内の9つの地域ごとに、将来像、主要な施策の方向性をまとめたまちづくりビジョン

2 社会・経済環境の変化

① 地球環境問題の深刻化、環境への意識の高まり

- ・近年の自然災害の激甚化や頻発化、気温上昇などの異常気象
- ・食品ロス削減や省エネなど環境に対する意識や行動が変化

② 新型コロナウイルス感染症の感染拡大と長期化

- ・人の社会活動が制限
- ・DXの普及の加速
- ・地方での生活に対する価値観の変化

③ デジタル田園都市国家構想

- ・デジタルを活用した地方の活性化
- ・デジタルサービスの実装に合わせた規制・制度の見直しによる新たなルール

3 計画推進のための政策、組織、予算の連動

急激な変化を見せる社会、経済環境の中においても、第五次東広島市総合計画の実現に向けて力強く前進していく必要がある。このため、一貫して熱意と強い意志を持ち、政策形成から予算編成までを進めた。

『新しい時代をリードする「やさしい未来都市」の実現』

① 施策の重点化

- ・社会、経済情勢の変化を捉えるとともに、やさしい未来都市会議や各地域ごとに行うまちづくり夢トークでの市民等の意見を踏まえて、重点的に次の施策に取り組む

《重点施策》

- ◆命と暮らしを守る体制の整備
- ◆仕事と生活価値を創造する基盤づくり
- ◆誰ひとり取り残さない多様性と調和社会の実現
- ◆多彩な地域の特徴を生かしたまちづくり
- ◆時代を担う子どもを育てる教育・保育の推進
- ◆持続可能な次世代環境都市の構築

② 事務事業の抜本的な見直し

- ・政策形成過程において、予算事業だけでなく、非予算事業も含め、事務事業の抜本的な見直しを、継続的・反復的に実施

◆事務事業の廃止等

事務事業の廃止、縮小、統合など(スクラップ・アンド・ビルド)

◆外部連携の強化

外部団体等との連携の強化、アウトソーシングの推進など

◆庁内事務の見直し

事務手続、制度の見直し、効率化の推進など

◆行政DXの推進

電子申請の推進、行政サービスのデジタル化など

③ 施策推進体制の整備

- ・重点施策の計画的な推進のために職員の増員を行うほか、部局間での連携体制の強化、外部人材の積極的な活用を推進

◆職員の執行体制の強化

施策実現のための計画的な職員確保、重点分野への増員、人材育成など

◆部局間の連携体制の強化

プロジェクトチームの設置(公共施設利活用、債権管理、業務改革、企業誘致など)

◆施策の推進、課題への対応

地域別計画のアクションプログラム推進、感染症対策、地域資源のブランド化など

◆外部団体との連携、専門人材の活用

(仮称)広島大学スマートシティ共創コンソーシアム、(仮称)生活デザイン・工学研究所、(仮称)産業支援連携チーム、デジタル人材、学校支援センターなど

④ 予算編成

- ・第五次総合計画を効果的かつ効率的に推進するため、目的別事業群の点検と重点化から、施策推進体制の整備に至るまで一貫性をもった予算編成

《予算編成の視点》

◆市民起点

市民や地域の最新のニーズを的確に把握した経営マネジメントを推進

◆成果主義

PDCAサイクルを踏まえた目的別事業群の成果指標により、事業を磨き上げ

◆重要度

目的別事業群における目的達成の寄与度に応じ、重要度・優先順位を判断

◆課題解決

客観的な証拠に基づく事業の重点化により、課題解決を促進

4-(1) 予算(案)の規模とポイント

「やさしい未来都市へ本格始動！！」

951億8千万円(前年度比+7.0%)

一般会計の予算規模は過去最大

- ・前年度比+62.6億円、+7.0%の積極予算編成
- ・災害復旧・コロナ対応予算を除いても、初の900億円超え(909.8億円、+8.1%)
- ・積極予算を支える市税は、370億円を計上(+7.3%)

第五次総合計画を戦略的に推進

- ・まちづくり大綱の5つの柱に333億円を措置(特別会計を含む)、+22.0%
- ・社会経済環境の変化、市民の意見を踏まえ、施策を重点化100億円、+34.8%
- ・新しい時代をリードする「やさしい未来都市」の実現を戦略的に推進

新型コロナウイルス感染症に機動的に対応

- ・ワクチン接種7億円、機動的対応1.2億円を含む14億円を措置
- ・小・中学校、幼稚園、保育施設などの感染防止対策に注力
- ・市民の暮らし、中小企業の事業活動を支えるセーフティネットを構築

生活関連事業を加速化

- ・179億円を措置し、災害復旧から普通建設・維持補修へのシフトを加速(+34.7%)
- ・学校施設・保育施設の長寿命化改良・大規模改修の促進、市民利用の公共施設を整備・改修

地域別計画を着実に推進

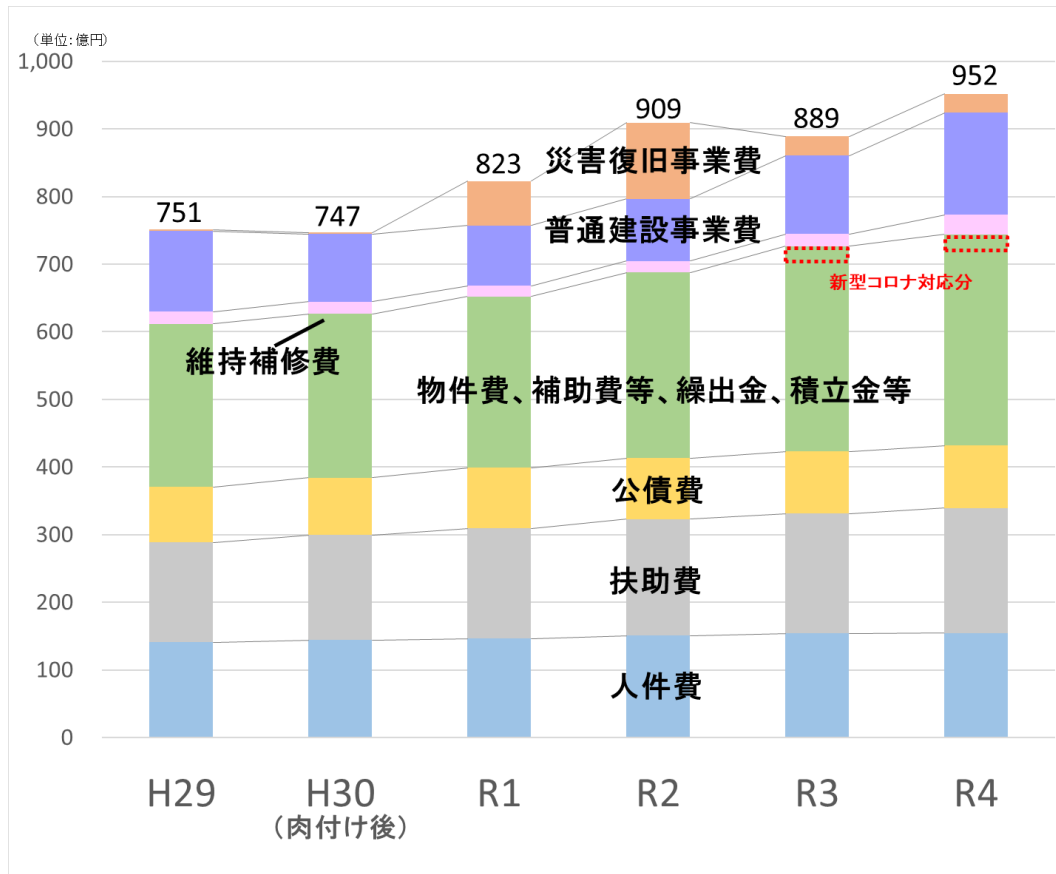
- ・地域の特性に応じ、地域の資源を活かした「活力が湧き出す9つの地域」を具現化
- ・地域別計画のアクションプログラムを策定し、計画を戦略的に着実に推進

当初予算額の比較

(単位：億円)

	R4	R3	比較 (R4-R3)	増減率 (%)
当初予算	951.8	889.2	62.6	7.0
うち普通建設事業費	150.7	115.5	35.2	30.5
うち維持補修費	29.1	18.1	11.0	60.8
うち災害復旧事業費	28.0	28.9	▲0.9	▲3.2

当初予算額の推移



4-(2) 平成30年度予算との比較

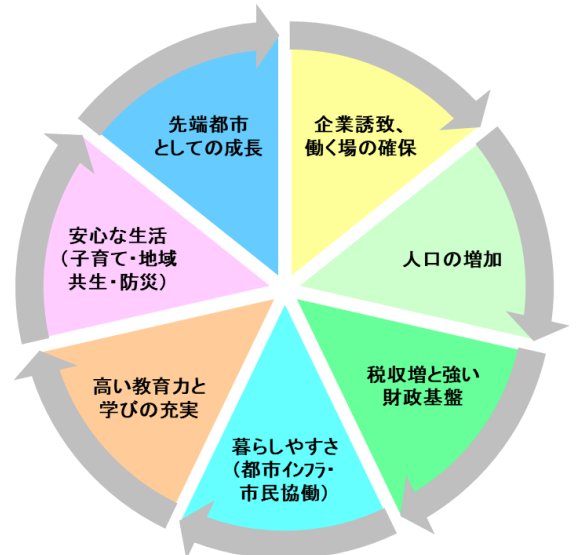
(H30) 746億5千万円 ⇒ (R4) 951億8千万円

205億3千万円増(伸び率+27.5%)

増要因

- 産業振興
⇒ 企業誘致・留置、投資促進、中小企業支援
- 子育て支援
⇒ 東広島版ネウボラ（拠点整備）、保育環境改善
- 学校教育
⇒ 教育支援体制、GIGAスクール、教育環境改善
- 地域共生
⇒ 包括的相談支援体制、自立支援事業
- 特殊要因
⇒ 豪雨災害、新型コロナウイルス感染症

成長・発展の好循環



4 - (3) 第五次総合計画のまちづくり大綱に掲げる 5つの柱の予算額

(単位：億円)

仕事づくり	55.2	(51.8)
○ 産業イノベーションの創出	0.8	
○ 中小企業等の活力強化	11.8	
○ 企業の投資促進	19.5	
○ 農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化	18.5	
○ 地域資源を活かした観光の振興	1.9	
○ 働き方改革の推進による雇用環境の充実	2.7	
暮らしづくり	97.5	(74.0)
○ 暮らしを支える拠点地区の充実	26.0	
○ 安全で円滑な生活交通の充実	42.2	
○ 快適な生活環境の形成	14.5	
○ 豊かな自然環境の保全	0.5	
○ 市民協働のまちづくりによる地域力の向上	13.9	
○ 多文化共生と国際化の推進	0.4	
人づくり	69.8	(59.6)
○ 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	0.1	
○ 乳幼児期における教育・保育の充実	0.2	
○ 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	53.1	
○ 新たな価値を創造する人材の育成	0.1	
○ 知的資源と国際性を活かした人づくり	0.03	
○ 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	16.3	
活力づくり	16.8	(23.3)
○ 学術研究機能の発揮による都市活力の創出	1.5	
○ 多様性豊かな市民の力が輝くまちづくり	0.4	
○ 都市成長基盤の強化・充実	1.7	
○ 交通ネットワークの強化	10.6	
○ 環境に配慮した社会システムの構築	0.7	
○ 未来を感じるプロジェクト挑戦都市	1.9	
安心づくり	94.4	(64.9)
○ 災害に強い地域づくりの推進	24.7	
○ 安全・安心な市民生活の実現	10.6	
○ 総合的な医療体制の確立	4.4	
○ 健康寿命の延伸による生涯現役社会の実現	6.6	
○ 誰もが生き生きと暮らせる地域共生社会の実現	14.8	
○ 安心して子どもを産み育てられる環境づくり	33.3	

※特別会計を含み、水道事業・下水道事業会計を除く

※ () 内は前年度予算額

※前年度予算額は、令和4年度事業に対比する予算額を再集計している

333.7 (273.6)

伸び率 22.0%

5 主な財政指標の状況

① 主な財政指標の推移

		H29	H30	R1	R2	R3見込
経常収支比率	本市	89.9%	87.6%	91.2%	88.3%	—
	類似団体	89.5%	88.9%	89.2%	—	—
実質公債費比率	本市	0.8%	0.3%	0.5%	1.0%	—
	類似団体	5.8%	5.3%	5.0%	—	—
財政調整基金残高		133.9億円	128.2億円	132.5億円	152.7億円	152.7億円
地方債残高（一般会計）		785.6億円	771.3億円	746.9億円	748.7億円	774.1億円※

※繰越予定分を除く

② 令和2年度決算の状況

(1) 経常収支比率

- ・市税収入など経常一般財源等の増により減少

(2) 実質公債費比率

- ・他の類似団体と比較すると良好な状況
- ・災害復旧事業や大規模な普通建設事業が続くことから、やや上昇傾向

(3) 財政調整基金残高

- ・堅調な税収により取崩を行わず、前年度から増加

6 今後の財政運営

① 財源の見通し

- ・市税は、新型コロナウイルス感染症による影響は少なく、堅調な収入を継続
- ・特定目的基金（公共施設総合管理基金、地域振興基金、都市基盤整備基金など）を有効に活用
- ・防災・減災、国土強靱化など国の推進する施策に呼応した有利な財源を確保

② 財政需要の見通し

- ・公共施設、道路橋梁、河川に係る整備、改修、修繕に要する経費
- ・社会保障に要する経費（扶助費：保育、障害者福祉、高齢者福祉など）
- ・都市基盤整備に要する経費（八本松駅前土地区画整理、西条第二地区、街路整備など）
- ・総合的な治水対策に要する経費

③ 総括

- ・良好な財政状況にあり、堅実な財政運営の継続が可能
- ・歳入への新型コロナウイルス感染症の影響は総じて少なく、増加する財政需要への対応も可能
- ・地方債残高は、平成30年7月豪雨災害発生前までの繰上償還により一定の抑制が効いている
- ・公共施設等総合管理計画に基づき、市民ニーズに対応した公共施設・公共インフラを確保
- ・市域全体の持続的発展を促すため、積極的な財政出動を行い地域経済の好循環を構築

7 重点施策

※予算額は、項目に対応する予算を再集計している

第五次東広島市総合計画を策定し、計画の5つのまちづくり大綱に掲げる施策を推進していく中で、地球環境問題の深刻化、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と長期化、国のデジタル田園都市国家構想への取り組み等の社会・経済情勢に変化が生じている。

この様な中においても、第五次東広島市総合計画に掲げる「世界に貢献するイノベーション創造のまち」と「暮らし輝き笑顔あふれる生活価値創造のまち」を目指して、総合計画の中の次の6つの施策を重点的に取り組んでいく。

新しい時代をリードする「やさしい未来都市」の実現

(単位：億円)

(1) 命と暮らしを守る体制の整備	30.2	(26.2)
● 災害死ゼロを目指した防災対策	16.9	
● 感染症を踏まえた医療体制の整備	13.3	
(2) 仕事と生活価値を創造する基盤づくり	24.8	(22.7)
● Hi-Bizの強化による中小企業者の活性化	2.3	
● 成長産業が集まり、新たな企業立地と投資の促進	19.1	
● 農業の生産性向上と観光の融合による豊かな農村生活の実現	3.4	
(3) 誰ひとり取り残さない多様性と調和社会の実現	19.2	(8.9)
● 安心して子どもを産み育てられるまちづくり	12.6	
● 次の時代を見据えた地域共生社会の実現	6.5	
● 国際色豊かなまちの形成	0.1	
(4) 多彩な地域の特徴を生かしたまちづくり	14.4	(6.3)
● 地域別計画の推進による地域の誇りの創出	10.8	
● 希望ある未来へ挑戦するプロジェクトの展開	3.6	
(Town & Gown構想、スマートシティ構想、生活デザイン・工学研究所構想)		
(5) 時代を担う子どもを育てる教育・保育の推進	9.7	(8.8)
● 学校支援センター、未来を担うこどもの育ちサポートの創設	0.3	
● 個別最適な学びとGIGAスクールの発展	9.4	
(6) 持続可能な次世代環境都市の構築	1.9	(1.4)
● 脱炭素化の推進	0.7	
● 豊かな自然環境の保全と活用	0.3	
● ごみの減量化プロジェクトの推進	0.9	
合計	100.2	(74.3)

伸び率 34.8%

※重点施策を掲載しており、5つの柱の事業費とは一致しない

※ () 内は前年度予算額

(1) 命と暮らしを守る体制の整備

30億1,983万円（前年度 26億1,811万円）

激甚化、頻発化する自然災害において、災害死ゼロを目指した防災体制の整備や、感染症等から市民の命を守る医療体制を整備する。

① 災害死ゼロを目指した防災対策（16億8,742万円）

・市域の流域治水対策（15億86万円）

局所豪雨等に伴う浸水被害に対する流域の総合的な治水対策
（調整池整備、ため池の貯留機能の検討）

市街地における浸水対策（西条第二地区、八本松駅前土地区画整理関連）

新 防災用大型排水ポンプの整備による排水能力の強化

・災害情報の伝達の強化（1億2,003万円）

新 災害関連情報収集機能や避難情報発令支援機能を備えた東広島防災WEB（総合防災情報システム）の導入

拡 河川監視カメラの増設、既存カメラへの暗視機能の追加

新 防災情報伝達手段の調査・検討

・救急救護体制の強化（6,653万円）

新 救急ワークステーションでの実習（東広島医療センター）

新 救急業務総合支援システムの構築（医療機関との連携による救命率の向上）

② 感染症を踏まえた医療体制の整備（13億3,241万円）

・東広島医療センターの機能強化（7,743万円）

新 寄附講座の設置による医師の確保（小児科、産婦人科、麻酔科）

・新型コロナウイルス感染症の予防対策（12億5,498万円）

新型コロナウイルスワクチンの接種をスムーズに行うための体制整備
「コロナとの共生」の視点をもった感染防止対策や自宅療養者支援の実施



流域治水対策（イメージ）



新型コロナウイルスワクチンの接種

(2) 仕事と生活価値を創造する基盤づくり

24億7,737万円（前年度 22億7,459万円）

中小企業の活性化や、農林水産業の生産性向上と観光の融合により、新たな価値を創造し、豊かな市民生活を実現する。

① Hi-Biz の強化による中小企業者の活性化（2億2,831万円）

・新型コロナウイルス感染症に対する市内事業者への支援（1億2,000万円）

経営維持に向け、前向きな取組みを行う事業者に対して、国の生産性革命推進事業（持続化補助、ものづくり補助、IT導入補助）等の活用を促進

・Hi-Biz の相談体制の強化（7,833万円）

中小企業の強みを引き出し、経営改善を図るため、専門家によるハンズオン（伴走型）支援の実施

・商工振興の取組み（2,998万円）

コロナ対応等の専用窓口（令和2年度設置）を引き続き運営し、商工会議所等と連携して国県制度の活用等、事業者のサポートを実施

新 商工会議所や市内企業等との連携を強化し、情報の共有化やDX活用など、総合的・一体的な企業支援サービスの提供体制を構築

② 成長産業が集まり、新たな企業立地と投資の促進（19億1,163万円）

・民間事業者による企業活動拠点整備への支援（1,139万円）

サテライトオフィス等の誘致を促進する取組み

・設備投資・最新技術導入の促進（19億24万円）

工場等の新設・増設等の投資を促進する取組み

③ 農業の生産性向上と観光の融合による豊かな農村生活の実現

（3億3,743万円）

・園芸作物の生産性向上（5,948万円）

新 高度化技術を活用した実証栽培による農業者の生産性向上・高収益化の促進

土壌の生物性や化学性等を数値化し診断する手法を活用した新たな土づくりの検証

・農業の担い手の支援（8,111万円）

新 集落法人の設立に向けた新たな支援制度の構築（若者等への支援の強化）

拡 集落法人等の営農活動の持続と経営安定化促進のため、スマート農業（省力化）技術の導入を支援

拡 グループ営農団体の農作業省力化や機械等の共同利用に向けた支援の拡充

新 法人化困難な兼業農家の離農防止を図るため、農作業省力化等を支援し、兼業農家のグループ化を促進

新 多様な担い手として、地域農業の核となる経営力の高い農業企業の誘致を促進
農業者の所得向上のため、認定農業者間や、流通、飲食などの異分野とのネットワーク化
の促進

・有害鳥獣の捕獲・防御対策の推進（1億179万円）

拡 捕獲対策を推進するため、有害鳥獣の捕獲体制を整備

・組織連携による戦略的な観光振興（9,505万円）

ディスカバー東広島（DMO）・観光協会・商工会・近隣市町のDMO等の団体や学生が
参画する市民共創によるコンテンツ開発体制の構築

拡 地域にある多彩な観光資源、特産品を観光コンテンツとして開発（主催者伴走支援、地域
コンテンツ情報の収集）

地域メディアと連携するなど地域一体となった観光プロモーションの展開



Hi-Biz



地域資源を活用した観光振興

(3) 誰ひとり取り残さない

多様性と調和社会の実現

19億1,790万円（前年度 8億9,407万円）

SDGs 未来都市として多様性と調和を基に、安心して子どもを産み育てられるまちづくりや地域共生社会、国際色豊かなまちを形成する。

① 安心して子どもを産み育てられるまちづくり（12億5,551万円）

・地域すくすくサポート等における妊娠・出産・育児支援（1億5,477万円）

拡 市民ポータルサイトを活用した母子保健事業のデジタル化

出産前後の支援サービスの充実（産前・産後サポートの実施）

拡 産後ケア事業の実施（市内医療機関での産後ケア実施に向けた整備支援）

・こども食堂の情報発信と活動支援（55万円）

こども食堂の活動の輪を広げるために市民への啓発等を実施

・保育施設の整備（11億19万円）

保育施設の整備・改修を進めることによる保育環境の改善

② 次の時代を見据えた地域共生社会の実現（6億5,111万円）

・地域共生社会の実現に向けた連携・協働の基盤づくり（8,522万円）

制度・分野や属性に関わらない連携体制の構築

拡 地域住民主体の課題解決や互助活動促進へ向けた日常生活圏域ごとの支援体制強化

地域の福祉ニーズの把握と早期発見の仕組みづくり

新 ヤングケアラーの啓発と支援の推進

見守りサポーターによる地域の見守り体制強化と民生委員・児童委員との連携支援

・高齢者への支援（3億7,788万円）

各圏域へ生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援体制を整備

在宅医療・介護連携や認知症対策等による地域包括ケア体制整備と家族介護者等の支援

拡 地域包括支援センターを地元法人等へ委託し、高齢者の身近な相談窓口体制を構築

・障害者への支援（8,686万円）

障害に対する理解促進のためのセミナー開催や意思疎通支援の実施

障害者に対する福祉助成券の交付等の生活支援

・生活困窮者への支援（1億115万円）

生活困窮世帯の子どもに対する学習支援

生活困窮者自立支援の促進

③ 国際色豊かなまちの形成 (1,128 万円)

・外国人市民と地域の人との交流促進 (1,128 万円)

拡 多文化共生コーディネーターを増員することで地域の国際交流を支援し、外国人市民の地域活動への参加を促進

誰もが参加しやすい交流機会の創出



改修する三津保育所



地域共生活動 (みんなの日曜学校「みんクロ」)

(4) 多彩な地域の特徴を生かしたまちづくり

14億4,019万円（前年度 6億3,125万円）

地域別計画の推進による地域の誇りの創出や、スマートシティ構想などの希望ある未来へ挑戦するプロジェクトの展開を図る。

① 地域別計画の推進による地域の誇りの創出（10億8,118万円）

- ・地域別計画の着実な推進～活力が湧き出す9つの地域～（20～24頁に掲載）

地域別アクションプログラムの推進

- ・住民自治協議会等の持続可能な活動の支援（2億5,322万円）

拡 協働支援員の増員による活動の伴走支援や連携のコーディネート等による各種相談機能の強化

学生が地域活動を実践的に学ぶ講座（現地実習、フィールドワーク等）を広島大学に開講

拡 学生の力を活かすために結成した学生協働支援隊による地域おこしのきっかけづくり

- ・地域活動拠点の充実（8億2,796万円）

地域活動拠点の整備（地域センター等の整備、集会所の改修など）

② 希望ある未来へ挑戦するプロジェクトの展開（3億5,901万円）

- ・Town & Gown構想の推進（1億4,404万円）

行政機関・大学・民間企業の力を融合した「(仮称) 広島大学スマートシティ共創コンソーシアム」による広島大学、周辺地域のスマートシティ化や、ゆとりある居住空間、企業との共同研究拠点の設置など次世代学園都市の形成につながる取組みを推進

Town & Gown Office が取り組む地域社会の課題解決に向けた活動プロジェクトを支援

拡 大学の知的・人的資源を活用し、行政課題の解決や重点施策の推進に向けた共同研究を実施

- ・大学との連携や学生活躍の推進（2,847万円）

新 大学の特色に応じた連携体制を構築するため、市と大学が一体となったまちづくりを行う Town & Gown の近畿大学工学部・広島国際大学への展開について検討

拡 エリザベト音楽大学によるコンサートの開催や学生による市内中学生を対象とした部活動の支援

学生の成長や地域への愛着を促進するため、「地域体験ツアー」や「ひがしひろしま学生×地域塾」等の実施を支援

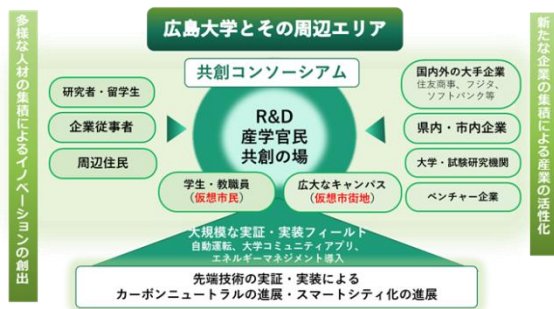
・未来を感じるプロジェクト挑戦（1億8,650万円）

新 暮らし方を豊かに変えていくため、市と民間企業が連携し、生活者発想で創り上げる住民参加型の研究・事業企画プラットフォーム（共創の仕組み）を構築／（仮称）生活デザイン・工学研究所の設置

スマートフォンだけでも行政サービスを利用することができる「市民ポータルサイト」のサービスを拡充

新 デジタル技術の社会実装を目的として産学官共同でDX実証事業を実施

SDGs推進パートナー制度を運用し、パートナー同士のマッチング、協力事業を実施



（仮称）広島大学スマートシティ共創コンソーシアム（イメージ）

生活価値創造に関する連携協定

(5) 時代を担う子どもを育てる

教育・保育の推進

9億7,421万円（前年度 8億7,797万円）

新たな時代を担う子どもを育成するために、質の高い教育・保育を推進する。

① 学校支援センター、未来を担うこどもの育ちサポートの創設(3,044万円)

・学校支援センターの設置(2,706万円)

新 スクールサポーターの派遣や若手教員の伴走型支援、ICTを活用した研修システムの構築を通じた学校支援の充実

・未来を担うこどもの育ちサポートの創設(338万円)

新 大学と連携した保育現場での実地指導・助言など、研究と実践を一体的に推進

② 個別最適な学びとGIGAスクールの発展(9億4,377万円)

・保育の魅力向上の推進(1,804万円)

子どもの5つの力を育む保育環境づくり

保育の質を高めるための保育士等のスキルアップ

・学校教育の情報化を活かした未来につながる教育の実践(4億1,778万円)

1人1台タブレットを活用したGIGAスクールの充実

拡 体育科デジタル教材の導入

新 各学校の特色ある教育やICTを活用した授業等の実践を積極的に広報

・特色ある教育活動の応援(5億795万円)

一校一和文化学習等の特色のある学校づくりの支援

拡 教科等指導支援員の配置

拡 学校運営協議会の推進

小中一貫教育の推進



子どもの5つの力を育む保育環境づくり



ICTを活用した授業の様子

(6) 持続可能な次世代環境都市の構築

1億8,797万円（前年度 1億4,001万円）

脱炭素化の推進や豊かな自然環境の保全と活用を図り、持続可能な次世代環境都市の構築を目指す。

① 脱炭素化の推進（6,841万円）

・CO₂排出量の削減に向けた取組み

新 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、福富支所を中心とした脱炭素先行地域の形成のため、その一環として、高効率空調設備や太陽光発電設備等の導入による福富支所の改修を実施

新 CO₂排出量の多い施設を対象とした、太陽光発電設備等の導入ポテンシャル調査

新 環境価値のクレジット化によるCO₂排出量の削減（オフセット）

企業・大学・市等が連携した次世代環境都市の構築に向けた取組み（S-TOWNプロジェクト）を推進

② 豊かな自然環境の保全と活用（3,132万円）

・森林及び里山の保全

新 市有林整備による森林吸収源対策の推進

新 企業等とのパートナーシップによる森林の適正管理

③ ごみの減量化プロジェクトの推進（8,824万円）

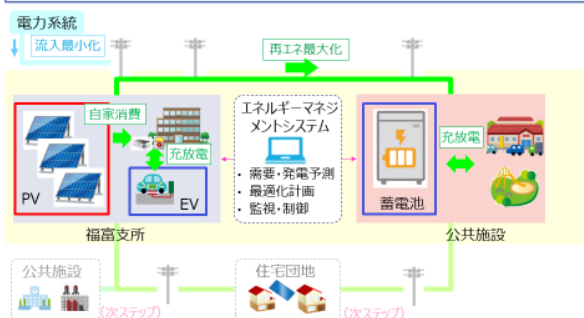
・循環型社会の構築

生ごみの水切りによるごみの減量化の促進

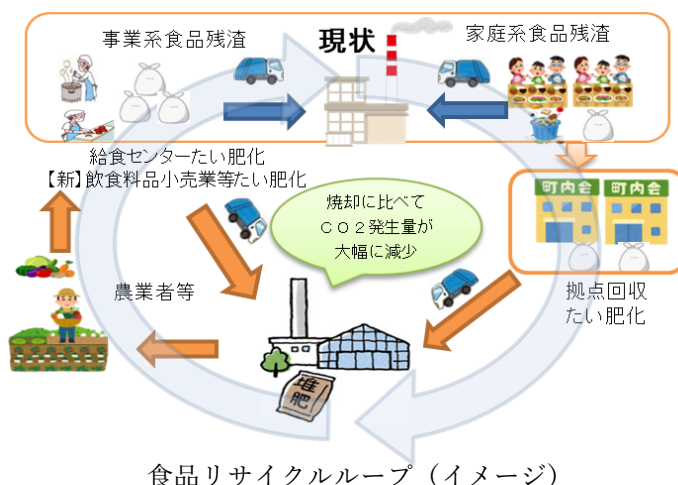
新 飲食料品等小売業者が行う食品残渣の資源化への支援を通じた資源循環の推進

再生可能エネルギー面的融通実証

- 公共施設2箇所で蓄電池、EVを活用し再エネの利用最大化を実証
- 太陽光発電（PV）、蓄電池、EVをエネルギーマネジメントシステムにより監視・制御し、エリア内での再エネ利用を最大化
- 次ステップでは他公共施設および住宅団地へのエリア拡大とリソース追加を検討



エネルギーの面的融通（イメージ）



食品リサイクルループ（イメージ）

8 予算編成上のポイント

※予算額は、項目に対応する予算を再集計している

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

14億30万円

(前年度 18億2,720万円)

新型コロナウイルスワクチンの接種をスムーズに行うために、万全な接種体制を整える。また、新型コロナウイルス感染症から市民の暮らしを守るため、「コロナとの共生」の視点をもった感染防止対策や自宅療養者支援などのセーフティネットを講じる。

① 新型コロナウイルスワクチン接種 (7億355万円)

- ・新型コロナウイルス感染症の発症予防とまん延防止を図るため、ワクチン接種体制を確保

② コロナ禍における教育・子育て支援と感染防止対策 (2億8,451万円)

- ・小中学校、幼稚園における感染防止
- ・保育所、いきいきこどもクラブ、地域子育て支援センター等における感染防止
(消毒液等保健衛生用品の購入)
- ・乳幼児への感染症対応が求められる保育士等の処遇改善

③ 暮らしを守るセーフティネット (4,013万円)

- ・生活困窮者の自立支援
- ・障害児者や高齢者の身の回りの世話をする同居者等が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合、又は濃厚接触者となった場合の生活支援

④ 中小企業等の事業活動支援 (1億4,533万円)

- ・コロナ禍における事業活動の悩みに対して中小企業等緊急総合窓口を開設
- ・生産性革命推進事業(持続化補助、ものづくり補助、IT導入補助)等の活用支援

⑤ 機動力ある対策経費の確保 (1億2,000万円)

- ・自宅療養者への支援など、緊急対応が必要となった場合に備え一般会計予備費を確保



(2) 生活関連事業の加速化

179億8,410万円

(前年度 133億5,592万円)

平成30年7月豪雨災害からの復旧を最優先としてきたが、普通建設事業・維持補修へのシフトを加速していく。

市民生活に密接に関わる公共施設、公共インフラの整備や適正管理を推進し、公共施設等総合管理計画を着実に実行していく。

※普通建設事業費・維持補修費を集計しており、他のページの金額とは異なることがある。

① 普通建設事業・維持補修へのシフト

- ・総合的な治水対策 (7億1,203万円)
- ・都市計画道路整備(西条中央巡回線、吉行泉線、丸山檜原線等) (8億7,614万円)
- ・市道、農道、河川、橋梁維持修繕 (23億4,811万円)

② 学校、保育施設の長寿命化などの施設整備

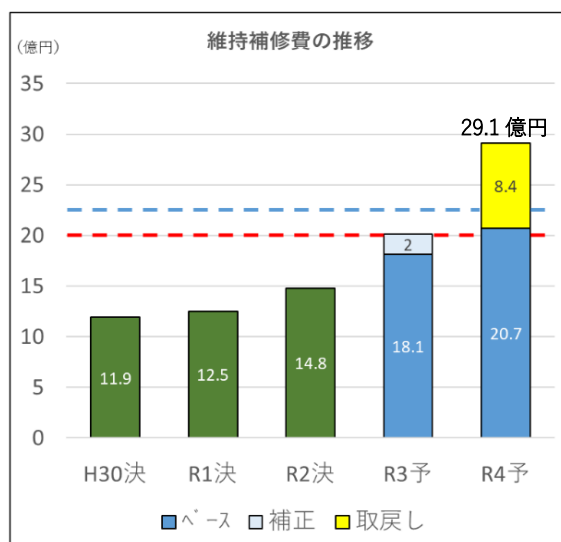
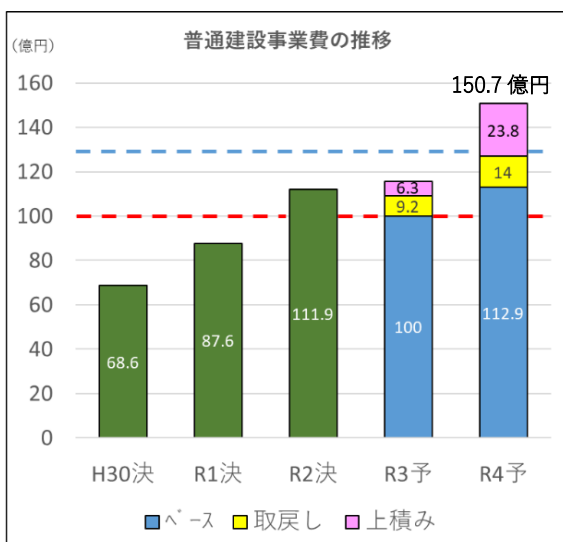
- ・小・中学校長寿命化改良工事等 (25億9,855万円)
- ・三津保育所大規模改修 (3億7,460万円)
- ・公立保育所の衛生環境の改善 (2億5,804万円)

③ 地域センターなどの地域活動拠点の整備

- ・高屋西地域センター複合施設整備 (5億9,930万円)
- ・小谷地域センター大規模改修工事 (2億572万円)
- ・西志和地域センター改修工事 (1億2,065万円)

④ 市民生活の利便性を高める施設、交通結節点の整備

- ・市民文化センター空調改修、中央図書館照明設備改修 (8,240万円)
- ・八本松駅前、西高屋駅整備 (27億9,297万円)
- ・西条駅前自転車駐車場改修 (1億6,000万円)



※青点線…総合管理計画上の目安

※赤点線…総合管理計画策定上のベース

(3) 地域別計画の着実な推進 ～活力が湧き出す9つの地域～

東広島市を構成する地域には多くの地域特性があり、従来から独自のまちづくりが展開されてきた。令和2年3月に策定した第五次東広島市総合計画では、改めてその地域特性に注目し、それぞれの地域資源を活かしたまちづくりを進めていくために、市内の9つの地域ごとに目指す方向性を検討し、「地域別計画」として定めた。

この「地域別計画」を基に、地域からの意見を聴きながら、具体的な行動計画であるアクションプログラムを現在取りまとめている。9つの地域がそれぞれの特性を活かして、活力が湧き出す地域となるよう、アクションプログラムを活用しながらまちづくりを進めていく。



西条地域

新たなテクノロジーによる次代の創造と 学術・研究・国際化を先導するまち

市全体の成長を牽引していくとともに、経済的な豊かさと暮らしやすさにつながる定住環境の充実を両立させ、地域の中だけでなく、対外的にも魅力が伝わるようこれまで備えてきた機能をさらに強化する。また、都市としての拠点性を向上させていく中で、この地域から次々とイノベーションが起これり、内外に幅広く波及していくような、国際学術研究都市の象徴となる地域にする。

産業イノベーションの創出

- ・ 東広島イノベーションラボミライノ+の活用 (2,721万円)
- ・ Hi-Biz等による中小企業のハンズオン支援 (7,833万円)

学術研究機能の発揮による都市活力の創出

- ・ Town&Gown構想の推進 (1億4,404万円)
- ・ スマート町家プロジェクト (400万円)



国際交流拠点 広島大学フェニックス国際センター
MIRAI CREA

八本松地域

先端産業と田園風景の調和や都市との近接性を活かした 良好な居住環境が整ったまち

これまでに整備した工業団地、住宅団地の蓄積、広島市等都市部への近接性や、高速道路等の広域的な道路ネットワークからのアクセス性の良さなどを活かすとともに、従来の田園環境と調和したまちづくりを進める。また、引き続き基盤整備に取り組むとともに、魅力ある居住環境の整備や、高度な技術を持つ企業の成長を通じて、新たな雇用を創出していく。

安全で円滑な生活交通の充実

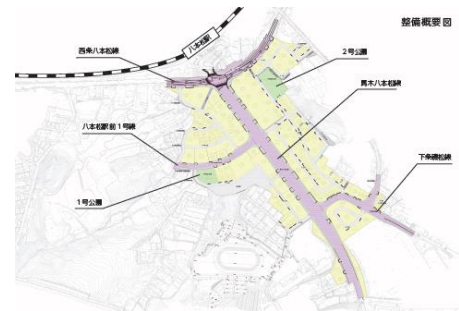
- ・ (仮称) 八本松スマート IC アクセス道路及び周辺道路の整備 (2億 3,736万円)

暮らしを支える拠点地区の充実

- ・ 八本松駅前土地区画整理事業等 (21億 6,993万円)

高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践

- ・ 川上小学校グラウンド造成工事 (2億 8,240万円)



八本松駅前土地区画整理事業

志和地域

田園環境との調和やインターチェンジ等のアクセス性・ 職住近接性を活かした仕事とともに新たな交流が生まれるまち

広島市との近接性及び広域的な道路ネットワーク機能を活用し、志和 IC 周辺における産業用地の確保とともに、定住対策や地域内外の交流が促進されるまちづくりを進める。また、地域拠点における生活支援機能の充実、定住人口の増加対策、都市近郊型農業の振興、小中一貫教育の推進や、豊かな自然環境を活かした取組みを進める。

農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化

- ・ 園芸センターにおける高度技術等を活用した農業情報の提供及び見える化 (583万円)
- ・ (仮称) 志和アグリ図書館の設置 (81万円)

市民協働のまちづくりによる地域力の向上

- ・ 西志和地域センターの改修整備 (調理室等) (1億 2,065万円)

高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践

- ・ 小中一貫教育の推進 (370万円)
- ・ 志和中学校テニスコート整備 (1,450万円)



西志和地域センターの開設

高屋地域

広域交通や様々な教育機関が整う 豊かな田園と良好な居住環境を備えたまち

本市有数の文教地区である拠点地域において、学習環境や交通機能の充実、魅力ある居住環境の整備等により利便性の高い拠点の形成を進めるとともに、若者世代にとって魅力的な雇用を創出するまちづくりを進める。また、田園地域における担い手不足への対応や歴史ある文化的景観の保全による地域の魅力向上などに取り組む。

暮らしを支える拠点地区の充実

- ・ 高屋西地域センター複合施設の用地取得及び設計（5億9,930万円）

交通ネットワークの強化

- ・ 西高屋駅の機能強化（6億2,304万円）

学びのキャンパスの実現

- ・ 東広島学の開催（7万円）
- ・ 西高屋駅への図書情報ラウンジの整備（1,100万円）



西高屋駅の機能強化

黒瀬地域

交通利便性や地域資源である大学の機能を活かした 健康・福祉と交流のまち

大学等の人材育成機能に加えて、域外からのアクセス性を活かすとともに、従来の田園環境と調和したまちづくりを進める。そのため、地域住民、新規流入世代にとって魅力的な雇用や産業創発力の喚起、魅力ある住環境の整備など、既存の強みを活かした取組みを進める。

暮らしを支える拠点地区の充実

- ・ 上黒瀬地区の活動拠点の整備（7,129万円）

生涯現役社会の実現

- ・ 「健康・福祉と交流のまち」の推進（144万円）
- ・ フレイル予防拠点の活用（72万円）

学びのキャンパスの実現

- ・ 黒瀬多目的グラウンドの充実（332万円）
- ・ 黒瀬生涯学習センターの機能特徴化に向けた文化発表及び芸術鑑賞の検討と試行（50万円）
- ・ サマーカレッジ、ボランティア発見講座の開講（16万円）

交通ネットワークの強化

- ・ バス交通結節点の整備（430万円）



広島国際大学

福富地域

自然と人が共生する

新たなライフスタイルに出会える交流のまち

地域に残る里山環境を活かすとともに、地域の担い手となる若者世代や自然の中での暮らしを希望する人材にとって魅力的な雇用や産業創発力の喚起、小中一貫教育の推進などに取り組んでいく。

農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化

- ・ 「道の駅湖畔の里福富」の管理運営（4,101万円）
- ・ 「福富物産しゃくなげ館」を活用した地域農産品等の販路拡大（288万円）

学びのキャンパスの実現

- ・ 文化財センターの整備（2,312万円）
- ・ 福富多目的グラウンドの充実（4,100万円）

未来を感じるプロジェクト挑戦都市

- ・ 福富支所を中心とした脱炭素先行地域の形成（483万円）
- ・ 「生活価値創造のまち」の実現に向けた共創の仕組み構築

（500万円）



道の駅湖畔の里福富

豊栄地域

豊かな自然の中でゆとりある暮らしが楽しめる

体験・交流・定住のまち

民間事業者の活発な活動との連携や豊かな自然環境を活かし、地域の担い手となる若者世代にとって魅力的な働く場の創出に取り組む。また、豊かな自然の中で快適な暮らしを実現するために、新たなテクノロジーの活用など、新たな発想を積極的に取り入れたまちづくりを進める。

農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化

- ・ 有害獣処理加工施設の利用促進（360万円）
- ・ 「とよさか四季菜館」を核とした地域農産品等の販路拡大（143万円）

地域資源を活かした観光の振興

- ・ オオサンショウウオの宿の管理運営（135万円）
- ・ どまんなか豊栄へそまつりの支援（150万円）

高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践

- ・ 豊栄小学校プール改築工事（1億1,680万円）
- ・ 豊栄小学校屋根防水改修（2,115万円）



オオサンショウウオ

河内地域

豊かな自然と空港や鉄道等の交通利便性を活かした ゆとりと活力のあるまち

将来を見すえて地域の活力向上を目指すため、広島空港、河内 I C の活用及び未利用公有地を活用した産業団地の整備、地域拠点における生活支援機能の充実、定住人口の増加対策、付加価値の高い農業の振興、小中一貫教育の推進などに取り組む。

農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化

- ・ 「こうち寄りん菜屋」を活用した地域農産品等の販路拡大 (490 万円)

安全で円滑な生活交通の充実

- ・ コミュニティバス等の運行と支援 (1,532 万円)

快適な生活環境の形成

- ・ 入野・河内地区水道連絡管の整備 (1 億 6,632 万円)

高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践

- ・ 小中一貫教育の推進 (150 万円)



河内小・中学校

安芸津地域

瀬戸内海に臨む温暖な気候と豊かな自然環境を活かした 共に支え合う共生のまち

情報通信技術の活用により、本市の中心部及び広島市等の都市部への近隣性や高速道路をはじめとした広域的な道路ネットワークへのアクセス性の弱さを補うとともに、魅力ある住環境の整備や地域の担い手となる若者世代にとって魅力的な雇用や産業創発力の喚起などに取り組む。さらに、地球規模での気候変動など災害リスクの増大が懸念される中、災害に強いまちづくりなどに取り組む。

農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化

- ・ 浜の活力再生プランの推進 (496 万円)
- ・ 三津湾の貧栄養化対策事業 (212 万円)

学びのキャンパスの実現

- ・ 海文化の伝承 (6 万円)

災害に強い地域づくりの推進

- ・ 高潮対策 (8,005 万円)
- ・ 港湾施設、漁港施設及び海岸保全施設の点検及び維持管理 (3 億 8,704 万円)



安芸津港

9 主要な施策の概要

※予算額は、項目に対応する予算を再集計している

(1) 第五次総合計画の2つの理念



① SDGs 未来都市の実現

60億2,830万円 (前年度 56億980万円)

SDGs の理念を前提とした第五次総合計画の将来都市像の実現

第五次東広島市総合計画は、2030年を目標年次とする本市のまちづくりの基本的な方向性及び今後実施すべき諸施策を総合的にまとめた最上位計画であり、将来都市像を「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市」としている。

この都市像は、「誰ひとり取り残さない」「世界基準」というSDGsの理念を前提として策定したものであり、本市がSDGs未来都市の実現を目指すことによって、自然と都市環境が共存し、魅力ある仕事にあふれ、心豊かな暮らしが営まれ、市民誰もが誇りを持てるようなまちづくりの進展を目指す。

■ SDGs 未来都市への選定

本市は、SDGsの理念に沿った取組みを推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルの高い都市・地域として、令和2年7月17日「SDGs未来都市」に選定された。

■ 全市的な取組みの推進

① 市民の意識向上・行動変容の推進

SDGs特設サイトの運用やコンテンツの充実を図るとともに、市民・企業・団体・行政といったすべての活動主体の取組みの見える化や市のSDGsの取組みを「〇〇にやさしい」という観点から分かりやすく伝えることで、市民へのSDGsの理念の浸透・自分ごと化、行動変容につなげる。

② 企業・団体による活動の促進

SDGs未来都市東広島推進パートナー制度の運用、パートナー同士のマッチング支援・セミナー（取組みの質の向上、連携の促進）、パートナーとの協力事業を実施する。

■ 重点推進分野

① 環境面の取組み

・持続可能な環境都市の構築：環境保全、公共交通、自動運転など

② 経済面の取組み

・イノベーション、経済発展を牽引：イノベーション（大学連携）、企業誘致・投資の促進など

③ 社会面の取組み

・全ての人が活躍できる環境の整備：学校教育、大学連携、学生の活躍、国際化、DXなど

■ 令和4年度の施策展開

市民・団体等と全市的な展開

SDGs 未来都市東広島推進パートナーの推進



- ・東広島市SDGs未来都市計画を踏まえ、SDGsの推進に賛同する企業及び団体等が連携し、東広島市におけるSDGsの実現に向けた取組みのより一層の推進を図るため、SDGs未来都市東広島推進パートナー制度を構築（パートナー 令和4年1月末現在 207団体）
- ・パートナーやその活動を見える化するための情報のプラットフォームとしてSDGs特設ウェブサイト運営

◀ SDGs 特設ウェブサイト



環境

25億1,170万円



●循環型社会・次世代環境都市の構築

- ・CO₂排出量の削減と持続可能な社会や産業の活性化につながる取組み
- ・ゼロエミッションシティの実現に向けた取組み

●公共交通ネットワークの強化・充実

- ・市内の各拠点との交通結節機能の強化による利便性の高い公共交通網の形成



循環型社会・次世代環境都市の構築

- ・脱炭素化の推進
- ・ごみの減量化の推進
- ・S-TOWNプロジェクトの推進
- ・ゼロエミッション（資源循環）の推進

◀ 広島中央エコパーク



公共交通ネットワークの強化・充実

- ・公共交通機能の強靱化による利便性の向上
- ・地域特性に応じた移動手段の導入
- ・高齢者や障害者の外出への支援

◀ 西高屋駅南北自由通路（イメージ）

経 済

19億8,822万円



●イノベーション創出環境の充実

- ・イノベーションによる新たな価値の創造
- ・大学やサイエンスパーク等との連携によるイノベーションの加速

●企業誘致・留置と投資促進

- ・多様で多彩な産業の誘致と市内企業の留置の推進
- ・産業集積と発展に向けた支援



イノベーション創出環境の充実

- ・市内大学と企業との共創によるイノベーションの加速
- ・イノベーションを担う研究者や企業、NPO 法人等の市民活動団体、女性、若者など多様な人や団体の交流促進

◀広島大学フェニックス国際センターMIRAI CREAの様子



企業誘致・留置と投資促進

- ・民間事業者による企業活動拠点整備への支援
- ・工場等の設備投資の促進

◀誘致企業の様子

社 会

15億2,838万円



●学校運営の支援と教育内容の充実

- ・学校教育の情報化を活かした未来につながる教育内容の展開
- ・新たな教育へ対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求

●「まるとと未来都市」を目指す取組みの積極的な展開

- ・ICTの利活用を通じたスマートシティの推進
- ・オープンデータ利活用の推進とデータ連携基盤整備の検討



学校運営の支援と教育内容の充実

- ・情報化を活かした未来につながる教育内容の展開
- ・校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求
- ・未来を見据えた学校施設の整備
- ・特色ある教育活動に対するサポートと地域の教育力導入

◀ICTを活用した授業の様子



Town&Gown、大学連携

- ・Town&Gownの推進による新たなまちづくり
- ・市内4大学との連携による魅力あるまちづくり
- ・イノベーションによる大学等連携システムの充実
- ・学生と地域との交流や連携の促進

◀地域体験ツアー（福富町）



多文化共生、国際化

- ・外国人市民の生活環境の充実
- ・外国人市民も共に活躍できる環境づくり
- ・国際交流の促進

◀東広島国際フェスタ 2021



「まるとと未来都市」を目指す 取組みの積極的な展開

- ・「生活価値創造のまち」の実現に向けた共創の仕組み構築
- ・オープンデータ利活用の推進
- ・データ連携基盤整備の検討

◀生活価値創造に関する連携協定

② DXの活用

12億5,800万円（前年度 6億6,580万円）

DX for SDGs

SDGsの理念や第五次総合計画の将来都市像の実現に向けて、社会課題の解決や経済発展の手段として、IoT、ビッグデータ、人工知能(AI)、ロボット等のデジタルテクノロジーを活用し、制度や政策、組織のあり方などを最適なものへと変革することで、新たな価値の創出や市民の暮らしを豊かにするDXを積極的に推進する。このための推進体制として、外部専門人材の活用などDX推進体制を整備することで、戦略的かつ計画的に施策・事業を実施する。

また、令和3年度中に策定するDX戦略に基づき、個人情報を適切に取り扱うことで市民の不安の払拭に努めるとともに、市民のDXに関する理解の向上を図りながら、市民の暮らしに密着したDXを推進する。

■ DX推進基本方針

誰一人取り残さないSDGsの理念や、第五次東広島市総合計画の推進の先にある「やさしい未来都市東広島」の実現のため、まちづくり大綱の5つの柱に定める施策をDXの観点から変革し、市民のしあわせ/Well-Beingの最大化を目指す。

■ DX推進体制

① デジタルトランスフォーメーション推進本部

- ・ DX推進本部（市長：本部長、各部署長：本部員）にて、全庁一丸となりデジタル化を推進

② 外部専門人材、有識者を活用した推進体制を構築

- ・ 情報分野に関する高度な知識や経験を有する外部専門人材を登用
- ・ 民間企業等で活躍する高度なスキルを持つ人材を活用

③ DX推進、課題解決のためのワーキングチーム組成

- ・ 職員や外部専門家で構成するワーキングチームを設置

■ まちづくり大綱を支えるDX

① 「仕事づくり」

- ・ 産業のDX推進、雇用環境の充実、農林水産業の推進、観光戦略など

② 「暮らしづくり」

- ・ 快適な生活環境の形成と豊かな自然環境の保全、行政サービスの変革、市民やコミュニティの交流促進など

③ 「人づくり」

- ・ 学校教育におけるDX、市全体が学びのキャンパスとなる環境づくりなど

④ 「活力づくり」

- ・ 学生・大学との交流促進、環境に配慮した社会システム、まるごと未来都市の推進など

⑤ 「安心づくり」

- ・ 災害対応力及び消防力の強化、健康寿命の延伸による生涯現役社会、地域共生社会の実現、切れ目のない子育て支援など

■ 令和4年度の施策展開

DX for 仕事づくり

3,051 万円

- 産業 DX の推進
- 農林水産 DX の推進



産業 DX の推進

- ・(仮称) 産業支援連携チームの設置・運営
- ・市民ポータルサイト（企業版）の活用

◀市民ポータルサイト（イメージ）



農林水産 DX の推進

- ・マーケットイン情報の共有システムデザイン検証
- ・学校給食への地元野菜供給率向上に向けたシステムの構築
- ・集落法人等の農作業省力化技術導入支援
- ・有害鳥獣捕獲体制の整備

◀地元野菜を取り入れた学校給食

DX for 暮らしづくり

7,202 万円

- 行政サービスの変革
- 市民やコミュニティの交流促進

行政サービスの変革

- ・転入手続きにおけるワンストップサービスの構築
- ・子育て等の手続きのオンライン受付などの市民の利便性向上
- ・AI チャットボットの市民展開を見据えた実証

市民やコミュニティの交流促進

- ・提案型課題解決（TORQUE）事業による地域活動団体の支援やベンチャー企業の ICT 技術を使ったサービスと地域課題のマッチングによる解決



◀TORQUE イメージロゴ

DX for 人づくり

4億 1,281 万円

- 学校教育DXの推進
- 学びのキャンパスの実現



学校教育DXの推進

- ・1人1台タブレット、情報通信ネットワーク環境の管理
- ・家庭学習環境（通信回線・デジタルドリル）の整備
- ・非認知能力検定結果の学校における活用研究

◀ICTを活用した授業の様子



学びのキャンパスの実現

- ・図書館の特色化と電子図書館の推進
- ・(仮称)志和アグリ図書館の設置
- ・(仮称)西高屋情報ラウンジの設計

◀(仮称)志和アグリ図書館開設予定の園芸センターロビー

DX for 活力づくり

2億 7,953 万円

- 学生・大学との交流促進
- 市民ポータルサイトの運用



学生・大学との交流促進

- ・行政機関・大学・民間企業の力を融合した「(仮称)広島大学スマートシティ共創コンソーシアム」による広島大学、周辺地域のスマートシティ化や、ゆとりある居住空間、企業との共同研究拠点の設置など次世代学園都市の形成につながる取組みの推進

◀(仮称)広島大学スマートシティ共創コンソーシアムの形成イメージ



市民ポータルサイトの運用

- ・市民ポータルサイトを活用したインターネットでの手続・通知等行政サービスの拡充

◀市民ポータルサイト (イメージ)

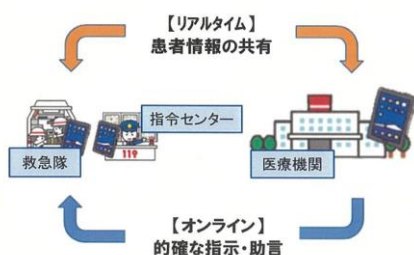
- 災害対応力及び消防力強化
- 健康寿命の延伸による生涯現役社会



災害対応力及び消防力強化

- ・災害関連情報収集機能や避難情報発令支援機能を備えた東広島防災WEB（総合防災情報システム）の導入
- ・河川監視カメラの増設、既存カメラへの暗視機能の追加

◀河川監視カメラ



- ・傷病者の情報を医療機関とリアルタイムで共有し、医師による的確な指示・助言を受けることのできる救急業務総合支援システムの構築

◀救急業務総合支援システム（イメージ）



生涯現役社会の実現

- ・元気すこやか健診の受診環境の整備

◀元気すこやか健診の電子申請（イメージ）

(2) まちづくりの5つの柱



① 仕事づくり

産業イノベーションの創出

7,660 万円

(前年度 6,590 万円)

広島大学フェニックス国際センターMIRAI CREAや東広島イノベーションラボ ミライノ+において、研究者や企業、NPO 法人等の市民活動団体、女性、若者など多様な人や団体が相互に交流することで、イノベーションの創造や新たなビジネスの創出、創業や社会の課題解決に結びつける。

大学、試験研究機関、企業の集積を活かし、市内大学と企業のマッチング、学生の参画など、大学と企業との共創の仕組みづくりに取り組み、産業イノベーションを加速する

① ミライノ+を活用したイノベーションを担う多様な人材育成 (5,062 万円)

- ・ 創業・起業に向けた取組み支援
起業者志望者と企業とのマッチングの場や経営者や起業等の実践事例を学ぶ場
- ・ 社会の課題解決型ビジネスについて学ぶ場
社会課題の解決に取り組みもうとする市民や団体の相互交流の場やネットワーク構築の機会の提供
- ・ 大学、試験研究機関等の研究・開発について学ぶ場
大学や試験研究機関における研究内容を紹介し、個人・企業と学術的な領域との関係づくりを支援
- ・ 新たなビジネス活動を推進
スタートアップやビジネススキル向上にチャレンジする学生の取組みを支援

② 市内大学と企業との共創によるイノベーション加速化 (2,598 万円)

- ・ 学生活力による企業の課題解決の促進、学生のアントレプレナーシップの醸成を図るため、学生と企業とのマッチングの場を創出
- ・ 市内へのオフィス誘致に向けた企業の立地ニーズや課題を把握するため、大学内に市外県外企業のリモートワーク環境を提供



東広島イノベーションラボ ミライノ+



広島大学フェニックス国際センターMIRAI CREA

農林水産業の活性化

3億 7,463 万円
(前年度 4億 6,861 万円)

次世代を担う多様な農業経営者を確保し、地域農業の中核を担う人材の育成や園芸農業の拠点整備、集落法人の組織化や省力化を支援し、経営の持続と安定を支援する。

農業のデジタル化をテーマに、農業 DX の活用検証や環境制御自動技術を活用した実証栽培に取り組むなど、新たな農業テクノロジーの活用を推進する。

東広島こい地鶏をはじめ東広島マイスターの認知、魅力向上を図るとともに、特定地域づくり事業協同組合制度を活用した直売所の活性化や市内道の駅による販売拠点を形成し、本市農林水産物のブランド化と販路を拡大させる。

① 農業の担い手の支援 (8,111 万円)

- ・ 集落法人の設立に向けた新たな支援制度の構築（若者等への支援の強化）
- ・ 集落法人等の営農活動の持続と経営安定化促進のため、スマート農業（省力化）技術の導入を支援
- ・ グループ営農団体の農作業省力化や機械等の共同利用に向けた支援の拡充
- ・ 法人化困難な兼業農家の離農防止を図るため、農作業省力化等を支援し、兼業農家のグループ化を促進
- ・ 多様な担い手として、地域農業の核となる経営力の高い農業企業の誘致を促進
- ・ 農業者の所得向上のため、認定農業者間や、流通、飲食などの異分野とのネットワーク化の促進

② 農業デジタル化の推進 (6,295 万円)

- ・ マーケットイン情報の共有システムデザイン検証や学校給食への地元野菜供給率向上に向けたシステムの構築による地産地消の推進
- ・ 高度化技術を活用した実証栽培による農業者の生産性向上・高収益化の促進
- ・ 土壌の生物性や化学性等を数値化し診断する手法を活用した新たな土づくりの検証

③ 「道の駅 西条 のん太の酒蔵」の活用と新たな東広島ブランドの構築 (1億 4,944 万円)

- ・ 本市のゲートウェイとして交流の起点となる「道の駅 西条 のん太の酒蔵」を活用した地産地消の拡大や集荷販売拠点の形成
- ・ 「東広島ブランド地鶏」の生産体制の構築支援や「コメ・野菜のブランド化」に向けた販売促進
- ・ 消費者や専門家を活用したモニタリング等を通じた商品開発の支援や認証アイテムの周知宣伝などの支援体制の構築



東広島マイスター



ぶちうまいお米コンテストの開催

中小企業者の活性化

2億 2,832 万円

(前年度 1億 2,881 万円)

東広島ビジネスサポートセンター「Hi-Biz (ハイビズ)」で無料の経営相談を実施し、企業の強みを引き出し、経営改善を支援する。

コロナ禍における事業継続を支援するため、令和3年度に引き続いて国県等の各種支援の活用をサポートするための相談窓口を開設する。

地域特性を踏まえた効果的な支援を行うため、商工会議所や市内企業との連携を強化し、情報の共有化やデジタル化など、一体的な企業支援サービスの提供体制を構築する。

① 新型コロナウイルス感染症に対する市内事業者への支援

/コロナ対応等の専用窓口 (1億 3,000 万円)

- ・ コロナ対応等の専用窓口 (令和2年度設置) を引き続き運営し、商工会議所等と連携して国県制度の活用等、事業者のサポートを実施
- ・ 経営維持に向け、前向きな取組みを行う事業者に対して、国の生産性革命推進事業 (持続化補助、ものづくり補助、IT導入補助) 等の活用を促進

② Hi-Biz の相談体制強化 (7,833 万円)

- ・ Hi-Biz の移転リニューアルによる相談体制の強化とミライノ+をはじめとする連携機関等との役割の明確化
- ・ 中小企業の強みを引き出し、経営改善を図るため、専門家によるハンズオン (伴走型) 支援の実施

③ 産業DXの推進/ (仮称) 産業支援連携チームの設置・運営 (700 万円)

- ・ 商工会議所や市内企業等との連携を強化し、情報の共有化やDX活用など、総合的一体的な企業支援サービスの提供体制を構築
- ・ 地域特性を踏まえた効果的な支援を行うため、地域経済の状況をいち早く把握できるモニタリング体制を構築



Hi-Biz

新しい時代に対応した観光

1億9,288万円

(前年度 1億3,898万円)

ディスカバー東広島 (DMO)、広島県観光連盟 (HIT)、せとうち観光推進機構 (広域 DMO) 等と連携し、マーケティングや観光コンテンツの充実等、観光プロモーションの実施により、地域循環型観光やマイクロツーリズムを推進する。

酒蔵通りの魅力向上と賑わいの創出に向けて、新規出店者への支援を行うとともに、酒蔵通り周辺の案内サインの更新を行い、観光客の受け入れ態勢の整備を行う。

① 組織連携による戦略的な観光振興 (6,673万円)

- ・ ディスカバー東広島 (DMO)、観光協会、商工会、近隣市町のDMO等の団体や学生が参画する市民共創によるコンテンツ開発体制の構築
- ・ 地域にある多彩な観光資源、特産品を観光コンテンツとして開発 (主催者伴走支援、地域コンテンツ情報の収集)
- ・ 地域メディアと連携するなど地域一体となった観光プロモーションの展開
- ・ 観光協会との連携による新たなWEBサイトの構築

② 地域の賑わい創出 (8,480万円)

- ・ アフターコロナを見据えた地域の賑わい創出を促すためのイベント等の支援
- ・ 地域内外からの集客及び交流を促す地域を代表する観光イベントの支援

③ 日本酒の魅力発信・日本酒のまち受入体制の整備 (4,135万円)

- ・ 「東広島の日本酒」への関心や認知度向上に向け、広島大学教養講座として「東広島日本酒学」を開設
- ・ より広く日本酒の魅力を発信するため、酒蔵の杜氏等を講師とした講座などの市民向け講座を拡充
- ・ 西条酒蔵通り周辺の空き店舗等を活用した新規出店者の支援や賑わいを創出するイベント等に対する支援を行い、まちの魅力向上とにぎわいを創出
- ・ 西条酒蔵通り周辺に、県外市外・海外からの観光客に対応した案内サイン (看板等) を設置



地域と協働して実施した観光コンテンツ
(小学生夏休みお仕事体験)



b 小型観光資源サイン

c 小型酒蔵説明サイン

【表示拡大図】

案内サイン

② 暮らしづくり

市民協働のまちづくり

13億9,271万円

(前年度 6億4,938万円)

市民協働のまちづくりの更なる発展を図るため、地域間の情報交換を図るとともに、地域活動の情報発信や情報共有を支援し、地域でのつながりや愛着を持つきっかけづくりを推進する。

地域センター等の整備、大規模改修により長寿命化を図るとともに、外国人市民が安心して生活できるよう地域とのつながりを促進するなどソフト・ハードの両面で市民の幸福度が向上するまちづくりを推進する。

① 学生協働による地域活動の活性化 (987万円)

- ・ 学生が地域活動を実践的に学ぶ講座（現地実習、フィールドワーク等）を広島大学に開講
- ・ 学生の力を活かすために結成した学生協働支援隊による地域おこしのきっかけづくり

② 地域の情報発信・ネットワークの支援 (163万円)

- ・ 住民自治協議会や市民活動団体等の市民活動情報サイトの利活用促進

③ 地域活動拠点の整備 (7,129万円)

- ・ 活動拠点の整備（上黒瀬地区拠点施設にホール設置）

④ 外国人市民の地域活動への参加促進 (343万円)

- ・ 多文化共生コーディネーター増員による、地域の国際交流を支援



学生協働支援隊の活動（豊栄町安宿地区）



上黒瀬小学校特別教室棟

循環型社会の構築

13億6,088万円

(前年度 12億5,454万円)

家庭や事業所から出るごみの減量化に対する意識の醸成を図るため、啓発活動を積極的に展開するとともに、市民、地域団体、事業者及び市が一体となり、食品リサイクルループの構築など資源循環の取組みを実施することにより、ごみの減量化・資源化を推進する。

① ゼロエミッション（資源循環）の推進（7,779万円）

- ・ 生ごみたい肥化の食品リサイクルループの構築
- ・ 市役所、支所、出張所、地域センターなどの回収拠点において古布・古着、小型家電の回収
- ・ 剪定枝破碎車（タウンピーバー）の利用促進
- ・ 資源循環に対する市民意識の向上

② ごみの減量化に向けた取組み（1,045万円）

- ・ 生ごみの減量化に向け、希望する市民に「生ごみ水切り器」「水切り紙袋」を配布
- ・ ごみの減量化に関するコンテストの開催
- ・ 一般廃棄物の分析調査

③ 食品ロス削減に向けた取組み（297万円）

- ・ 食品ロスゼロ運動（食品ロス削減標語等の募集及びパンフレットの配布）の展開
- ・ 食品ロス削減イベント（啓発映画上映）の開催
- ・ 食品ロスとなりうる食品を回収し、福祉施設等に分配するフードドライブ事業の実施



広島中央エコパーク



食品リサイクルループ

持続的な生活インフラの整備

41 億 4,904 万円

(前年度 36 億 278 万円)

道路・橋梁などのインフラの予防保全の取組みを一層推進し、インフラ施設の長寿命化を図る。
市民の利便性の向上を目的として、拠点となる地域ではまちの骨格となる街路を、集落等では生活道路の整備を推進する。

① まちの骨格となる街路の整備 (8 億 7,614 万円)

- ・ 都市計画道路の整備 (西条中央巡回線、吉行泉線、丸山橋原線、寺家中央線、中島線)

② 街路以外の道路整備 (11 億 5,283 万円)

- ・ (仮称) 八本松スマート IC アクセス道の用地測量等に着手
- ・ 国、県道を補完する幹線道路や集落をつなぐ生活道路の整備

③ アセットマネジメントによる橋梁施設の長寿命化 (7 億 3,604 万円)

- ・ 予防保全のための橋梁定期点検 (道路橋 252 橋)
- ・ 定期点検結果等により補修が必要と判定された道路橋の補修 (39 橋)

④ 市道の維持修繕、交通安全施設の整備 (13 億 8,403 万円)

- ・ 道路を良好な状態に保つため、計画的な舗装修繕や除草、伐木など日常の維持管理
- ・ 交通の安全確保のための歩道整備



橋梁点検の様子



整備中の西条中央巡回線

生活交通の充実

7,116 万円

(前年度 6,520 万円)

多様な移動手段を組み合わせ、地域特性に沿った交通施策を地域と共に展開することにより、公共交通空白地域の解消と利便性向上を図る。

① コミュニティバスの運行 (5,976 万円)

- ・ 市民の移動手段を確保するため、黒瀬、豊栄、河内及び安芸津地区において、コミュニティバスを運行（黒瀬さくらバス、豊栄そよかぜ号、河内あゆピチふれあい号、入野デマンド交通、安芸津海風バス）

② 地域特性に応じた移動手段の導入(1,049 万円)

- ・ 地域が主体となった、運行準備組織の設立を見込む地域を対象とし、移動実態調査、潜在需要の掘り起こし等の伴走支援

③ 高齢者や障害者の外出への支援（再掲）

- ・ 高齢者及び障害者の外出機会の拡大及び社会参加を促進するため、タクシー等乗車への助成
- ・ 通いの場等に一人で参加できない高齢者をサポートするため、その高齢者と一緒に参加する人への元気輝きポイントの付与



黒瀬さくらバス（黒瀬さくらバス運行協議会）



入野デマンド交通（入野自治組織 篁の郷）

③ 人づくり

学校教育の充実

44億5,544万円

(前年度 34億1,437万円)

学校における教育力の向上を図るため、学校支援センターを新設し、若手教員への伴走型支援や退職教員による学校の教育活動への支援の充実を図るほか、デジタル教材の導入などGIGAスクールの推進に取り組む。

仮設教室の解消のための校舎の増築工事や長寿命化改良工事、バリアフリー対策など教育環境の向上に取り組む。

① 学校教育の情報化を活かした未来につながる教育の実践(4億1,778万円)

- ・ 1人1台タブレットを活用したGIGAスクールの充実
- ・ 生徒自身が練習メニューを把握、計画できる体育科デジタル教材の導入(全中学校)
- ・ 各学校の特色ある教育やICTを活用した授業等の実践を積極的に広報

② 特色ある教育活動に対する力強いサポートと学校教育への地域の教育力導入促進(5億3,501万円)

- ・ 学校支援センターの設置
- ・ 特色ある学校づくりの支援
- ・ 小中一貫教育の推進

③ 未来を見据えた学校施設の整備(35億265万円)

- ・ 長寿命化計画に基づく大規模改修工事・設計(西条中、東西条小、川上小)
- ・ 特別教室への空調整備
- ・ 屋内運動場への空調設備設置の検討



大学連携等による授業研究及び実践

幼児教育・保育の充実

2,142 万円

(前年度 1,349 万円)

乳幼児期における教育・保育の質向上のため、市内大学と連携して「未来を担うこどもの育ちサポート」を創設し、新しい乳幼児教育・保育モデルを構築する。また、子どもの5つの力を育む保育環境づくりを進めるとともに、保育現場を支える保育士等のスキルアップを図る。

① 「未来を担うこどもの育ちサポート」の創設 (338 万円)

- ・ 大学と連携した保育現場での実地指導・助言など、研究と実践を一体的に推進

② 子どもの5つの力を育む保育環境づくり (970 万円)

- ・ 保育施設それぞれの特色を活かした、子どもの5つの力を育む保育環境づくり

③ 保育の質を高めるための保育士等のスキルアップ (834 万円)

- ・ 保育現場を支える保育士等の研修の充実
日々の実践につながる園内研修の充実
施設長やミドルリーダーのマネジメント力の強化
処遇改善につながるキャリアアップ研修の実施



子どもの5つの力を育む保育環境づくり



保育士等の研修

「学びのキャンパス」づくり

13億4,006万円
(前年度 13億6,957万円)

現代的・社会的課題に対応するための学習機会を提供するため、各世代のニーズに沿った学習プログラムを、地域をはじめ様々な団体と連携し提供するとともに、学習施設等学びを支える環境づくりを行う。また、学びを実践につなげる好循環が生まれるように、市全体を「学びのキャンパス」にするための基礎調査を実施する。

図書館については、紙の本の貸し出しを中心とする図書館から、電子書籍など多様な媒体の提供、人と知識・情報との出会いの場の提供など、社会情勢を踏まえた図書館づくりを推進する。

① 「学びのキャンパス」の推進 (1,303万円)

- ・ 「学びのキャンパス」に向けた基礎調査
- ・ 市民主催による講座の開講を推進していくための調査及び講習会の実施
- ・ 市内生涯学習センターの機能の特徴化に向けた黒瀬生涯学習センターにおける文化発表及び芸術鑑賞の検討と試行

② 特色ある図書館づくりとDX推進 (3億5,598万円)

- ・ ICT化の推進により蔵書検索・利用者登録・予約連絡通知のシステムの統一による利便性の向上
- ・ 西高屋駅南北自由通路の整備に合わせ、(仮称)西高屋情報ラウンジの内装・設備の設計業務に着手
- ・ 園芸センター内に、(仮称)志和アグリ図書館を整備

③ スポーツを楽しめる環境の形成 (3億3,830万円)

- ・ 福富多目的グラウンドのトイレの整備
- ・ 黒瀬多目的グラウンドの手洗い・水飲み場の整備



(仮称) 志和アグリ図書館開設予定の園芸センター本館内



けんみん文化祭 ひろしま 2021

歴史・文化の伝承

1億2,904万円

(前年度 1億3,727万円)

本市が令和6年に市制施行50周年を迎えることを記念して『東広島市史』の発刊事業を進め、東広島市の歴史を明らかにすることにより、市民の地域の歴史や文化に対する理解と愛着、郷土愛を深める。

また、分散した文化財関連施設を集約することにより、利用者の利便性を高めるとともに、文化財の適切な保護・保全を行うほか、公開活用により魅力を配信する。

① 市史編さんによる地域の歴史文化に対する理解と愛着の醸成(1,723万円)

- ・ 市史編さん委員会、編集部会、執筆委員会の開催
- ・ 資料の調査、収集及びデジタル化
- ・ 研究成果の報告及び広報紙の作成・配布

② (仮称)新文化財センターの整備による情報発信と活用促進(2,312万円)

- ・ 旧久芳小学校跡地に(仮称)新文化財センターを整備するための設計業務
- ・ 旧久芳小学校跡地に三永歴史民俗資料館を移築するための調査設計



これまでに発刊された町史、村史



旧久芳小学校

④ 活力づくり

Town & Gown構想の推進

1億4,404万円

(前年度 5,235万円)

大学と市が共同で地域における課題の解決に取り組むため、広島大学内に Town&Gown Office を設置し、大学との研究推進体制・機能の充実強化を行うほか、新たなイノベーションや世界からの起業家や研究者等が集まる持続可能なまちづくりにつながる事業を展開する。

① Town (街) と Gown (学生・教員等) が一体となったまちづくり (2,750万円)

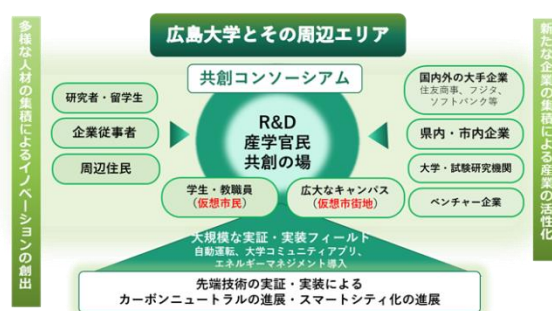
- ・ 大学と市が共同で地域課題の解決に取り組むため、広島大学内に Town&Gown Office を設置・運営
- ・ Town&Gown Office が取り組む地域社会の課題解決に向けた活動プロジェクトを支援
- ・ 大学の知的・人的資源を活用し、行政課題の解決や重点施策の推進に向けた共同研究を実施

② 次世代学園都市構想の実現に向けた事業展開 (1億1,654万円)

- ・ 持続可能な学園都市モデルの実現を目指すため、「次世代学園都市構想」に基づき、ハード面を中心としたエリアデザインを策定
- ・ 行政機関・大学・民間企業の力を融合した「(仮称)広島大学スマートシティ共創コンソーシアム」による広島大学、周辺地域のスマートシティ化や、ゆとりある居住空間、企業との共同研究拠点の設置など次世代学園都市の形成につながる取組みを推進



Town&Gown Office が所在する
広島大学フェニックス国際センター MIRAI CREA



(仮称) 広島大学スマートシティ共創コンソーシアム
(イメージ)

大学連携・学生活躍

2,847 万円

(前年度 1,950 万円)

魅力あるまちづくりを進めるため、大学の特色づくり、魅力づくりを支援するなど、より強力な戦略パートナーシップを構築しながら、大学との連携を推進する。

学生と地域との連携を促進し、学生の成長や地域への愛着を促すため、地域で様々な活動や体験、活躍が可能となる機会の創出を図るとともに、主体的な活動を支援する。

① 市内4大学との連携による魅力あるまちづくり／大学連携 (1,037 万円)

- ・ 市内4大学の学長と市長によるトップミーティングの実施
- ・ 大学の特色に応じた連携体制を構築するため、市と大学が一体となったまちづくりを行う Town & Gown の近畿大学工学部・広島国際大学への展開について検討
- ・ エリザベト音楽大学によるコンサートの開催や市内中学生を対象とした部活動の支援
- ・ 広島大学内に設置する Town&Gown Office の運営及び活動プロジェクトの支援 (再掲)

② 学生と地域との交流や連携の促進／学生活躍 (1,810 万円)

- ・ 留学生間での親睦や留学生と地域との交流促進、留学生向けの就職活動実践セミナーや企業向けのグローバル人材の活用セミナーを開催等、留学生の受入促進及び生活・就職を支援
- ・ 学生の成長や地域への愛着を促進するため、「地域体験ツアー」や「ひがしひろしま学生×地域塾」等を実施
- ・ 地域をフィールドにして学生と地域との連携による活動を行う学生団体を「学生ローカルパートナー」として認定し、伴走的に支援
- ・ 酒蔵通りの町家を学生のまちづくり活動拠点として再生し、学外での実践活動やアントレプレナー教育の場として活用／スマート町家プロジェクト



市内大学への Town&Gown の展開イメージ

次世代環境都市の構築

6,841 万円

(前年度 4,424 万円)

次世代環境都市の構築に向け、市が先行的に脱炭素化の取組みを実施し、その効果を示すことで市域全体の脱炭素化を促進するとともに、創エネ等の環境価値の創出に向けた取組みを推進する。

また、市民・事業者等に対して目指す将来像の共有を図り、各取組みをサポートするシステムを構築することで、環境先進都市として気候変動への対応や循環型社会の構築による持続可能な次世代型の環境都市の構築を目指す。

① 脱炭素化の推進 (6,168 万円)

- ・ 福富支所を中心とした脱炭素先行地域の形成
- ・ CO₂排出量の多い施設を対象とした、太陽光発電設備等の導入ポテンシャル調査の実施
- ・ 環境価値のクレジット化による CO₂排出量の削減 (オフセット)

② 次世代環境都市の構築に向けたプロジェクト (673 万円)

- ・ 企業・大学・市等が連携した次世代環境都市の構築に向けた取組み (S-TOWN プロジェクト)
 - 環境配慮型の災害に強いコミュニティの構築
 - 環境教育プログラム (Web 版環境学習センター) の構築
 - 市が所有する施設での再生可能エネルギー発電の展開
 - 食品残渣リサイクルループの構築等
- ・ 地球温暖化防止に係る自発的な行動を促すための SDG s × 「COOL CHOICE」の啓発



ひがしひろしま環境フェア 2021



令和3年度の脱炭素化の取組み (安芸津中学校)

未来を感じるプロジェクト挑戦

1億6,057万円

(前年度 9,189万円)

AI やビッグデータ等の最先端技術を活用し、未来の暮らしを先行実現する「まるごと未来都市」に向けた取組みを推進する。

暮らし方を豊かに変えていくため、多様性と包摂性を持ったSDGsの理念の普及や、デジタルの力を活用して生活を豊かにするDXの活用を促進する。

① 「生活価値創造のまち」の実現に向けた共創の仕組み構築 (500万円)

- ・ 中山間地域の暮らし方を豊かに変えていくため、市と民間企業が連携し、生活者発想で創り上げる住民参加型の研究・事業企画プラットフォーム(共創の仕組み)を構築／(仮称)生活デザイン・工学研究所の設置
- ・ 再生可能エネルギーの確保の取組みと連動してカーボンニュートラルを目指すとともに、地域活性化の仕組みやサーキュラーエコノミー確立に向けた活動資金確保の仕組みを構築

② DXの推進による市民の利便性の向上 (1億4,549万円)

- ・ スマートフォンだけでも行政サービスを利用することができる「市民ポータルサイト」のサービスを拡充
- ・ デジタル技術の社会実装を目的として産官学共同でDX実証事業を実施
- ・ 市民の手続の利便性を向上させるためオンライン申請を拡充

③ SDGsの理念の普及 (1,008万円)

- ・ SDGs推進パートナー制度を運用し、パートナー同士のマッチング、協力事業を実施
- ・ パートナーによる市内の地域・学生を巻き込んだSDGs達成に向けた取組みを支援



生活価値創造に関する連携協定 (マツダ(株)、(株)博報堂)



SDGs 特設ウェブサイト

中心市街地活用における都市活力の創出

5,334 万円

(前年度 6,291 万円)

東広島らしい景観を有する酒蔵地区において、景観の整備・保全を推進し、地域の活性化やにぎわい創出を図る。

中央生涯学習センター跡地は「アート・カルチャー・スポーツ・マルシェなど市民の暮らしを豊かにする多様なコンテンツを実施できる自由度の高い空間」、市役所本庁舎北側の敷地等の跡地周辺公有地は平成 29 年度に整理した「まちづくり活動や子育て・福祉といった既存ニーズだけでなく新たなニーズにも対応できるよう機能の集約化を検討」という方針のもと、基本計画を策定する。

① 酒蔵地区の景観形成 (4,162 万円)

- ・ 酒蔵地区の街並みと調和した景観保全のため、西条本通線を美装化
- ・ 酒蔵地区における登録文化財や歴史的建造物等について修繕等を支援

② 中央生涯学習センター跡地及び周辺公有地活用基本計画の策定 (1,172 万円)

- ・ 中央生涯学習センター跡地及び跡地周辺公有地（市役所本庁舎北側敷地等）の活用プランに基づき、整備方針や導入施設、事業スケジュール等を整理し、具体的活用に向けた基本計画を策定



西条本通線美装化



中央生涯学習センター跡地及び周辺公有地

都市の成長を支える公共交通網の整備

10億 1,126 万円

(前年度 9億 2,520 万円)

市民や来訪者の広域移動を見据えた交通機能の強化を図るため、西高屋駅の南北自由通路及び駅前広場を整備するとともに、下見・鏡山地区及び黒瀬地区にバス交通結節点の整備を行う。

① 西高屋駅の機能強化と拠点施設整備（6億 2,304 万円）

- ・ 南北自由通路や駅前広場等の整備により、西高屋駅及び周辺のバリアフリー化や交通結節点機能を向上
- ・ 情報の収集、発信とにぎわいの創出の拠点として情報ラウンジ棟（待合交流スペース兼図書情報ラウンジ等）を整備

② バス交通結節点の整備によるアクセス環境の強化・利便性の向上 (1億 2,472 万円)

- ・ 下見・鏡山地区及び黒瀬地区にバス交通結節点を整備し、利便性と路線再編による運行効率の向上を図る

<下見・鏡山地区交通結節点>

- ・ 広大中央口に待合所や駐輪場を整備（R4年度：工事）

<黒瀬地区交通結節点>

- ・ 黒瀬兼広地区に待合室、トイレ、駐輪場や駐車場を整備（R4～R5年度：設計・工事）

③ バス交通の維持・強化（2億 2,048 万円）

- ・ 本市移動の骨格である幹線交通を支える路線バス交通事業の維持強化



下見・鏡山地区交通結節点



西高屋駅南北自由通路（イメージ）

⑤ 安心づくり

災害対応力及び消防力の強化

39億6,706万円

(前年度 23億3,427万円)

河川改修などのハード対策を着実に実施するとともに、河川監視機能の強化や防災用排水ポンプの配備などのソフト対策、また、土地利用を踏まえたまちづくり対策も含めた流域治水対策を実施することで、災害に強い地域づくりを推進する。

傷病者の情報を医療機関とリアルタイムで共有し、医師による的確な指示・助言を受けることのできる、救急業務総合支援システムを構築し、更なる救命率の向上を図る。

① 「自助」「共助」「公助」機能の強化 (2億7,554万円)

- ・ 災害関連情報収集機能や避難情報発令支援機能を備えた東広島防災WEB（総合防災情報システム）の導入
- ・ 防災情報伝達手段の調査・検討
- ・ 道路寸断による避難所の孤立化等に備えた分散備蓄の推進（備蓄倉庫の配備）
- ・ 避難所の環境改善（備蓄物資及び資機材の計画的購入、公設避難所の土砂災害対策）
- ・ 自主防災組織への活動支援（地域防災リーダー養成、防災士資格取得支援）

② 流域治水対策の推進 (36億3,741万円)

- ・ 河川監視カメラの増設、既存カメラへの暗視機能の追加
- ・ 防災用排水ポンプ（大型、小型）の配備による排水対応力の強化
- ・ ハザードマップ（中小河川浸水想定区域・浸水実績等掲載）の配布
- ・ 局所豪雨等に伴う浸水被害に対する総合的な治水対策
- ・ 民間開発行為の適切な誘導に向けた、開発許可基準等の検討及び制度構築
- ・ 市街地における浸水対策（西条第二地区、八本松駅前土地区画整理関連）

③ 救急業務総合支援システムの構築 (5,411万円)

- ・ 医療機関と傷病者の状況をリアルタイムで共有し、救命率の向上を図るシステムの構築
- ・ システムを介して医師からの的確な指示、助言による現場滞在時間の短縮



河川監視カメラ



防災用大型排水ポンプ (イメージ)

地域共生社会の形成

6億5,111万円

(前年度 5億4,904万円)

市民がそれぞれの人格及び個性を尊重しながら、地域社会に主体的に参画することにより、相互に支え合い、全ての人々が生きがいを持ち、安心して日常を営むことができる地域共生社会の実現を目指す。

① 地域包括支援センターの機能強化（2億6,340万円）

- ・ すべての圏域において、地元法人等による委託型地域包括支援センターを設置し、身近な窓口で総合相談支援や介護予防ケアマネジメントのほか認知症の方自身等の支援を実施（黒瀬圏域の委託は令和5年度からの予定）
- ・ 委託型地域包括支援センターの総括・総合調整を行う基幹型地域包括支援センターを市（直営）に設置

② 地域共生活動の場における住民主体の地域活動の促進（5,674万円）

- ・ 地域住民との共働による問題解決・地域特性に応じた互助活動の取組みを推進するため、エリア担当コミュニティーソーシャルワーカーによる支援体制の強化
- ・ 地域の福祉ニーズの把握と早期発見の仕組みづくり
- ・ ヤングケアラーの啓発と支援の推進
- ・ 地域の見守り体制の強化

③ 障害者の自立支援（8,686万円）

- ・ 障害に対する理解促進のためのセミナー開催や意思疎通支援の実施
- ・ 障害者に対する福祉助成券の交付等の生活支援

④ 包括的な相談支援体制の構築（1億2,964万円）

- ・ 子ども、高齢者、障害者、生活困窮者等の相談支援機関のネットワーク体制の構築
- ・ HOT けんステーション（市役所本庁舎2階）での相談支援体制の充実
- ・ 生活困窮者等への自立支援と学習支援



地域共生活動（みんなの日曜学校「みんクロ」）



住民主体の互助活動
（高屋高美が丘「6丁目ニコニコお助け隊」）

子育て支援の更なる充実

33億6,245万円

(前年度 18億4,464万円)

地域で安心して子育てできるように、産前産後のサポート体制や SNS を活用した子育て支援情報発信を強化するとともに、子どもたちだけでなく地域の方々も集うことができるこども食堂の運営を支援するなど、妊娠期から子育て期までの切れ目のない子育て支援体制の充実を目指す。

また、公立保育所やいきいきこどもクラブの整備・改修を進め、保育環境の早期の改善に取り組む。

① SNS を活用した子育て支援情報の発信 (2,905 万円)

- ・ 市民ポータルサイトを活用した母子保健事業のデジタル化

② 出産前後の支援サービスの充実 (2,571 万円)

- ・ 産前・産後サポートの実施
多胎産婦支援や妊娠～産後の家事支援
- ・ 産後ケア事業の実施
市内医療機関での産後ケア実施に向けた整備支援

③ 小児周産期医療体制の強化 (3,300 万円)

- ・ 小児科医・産婦人科医の確保、育成による医療体制の強化

④ こども食堂の情報発信と活動支援 (55 万円)

- ・ こども食堂の活動の輪を広げるために市民への啓発等を実施

⑤ 保育施設の整備 (10 億 7,243 万円)

- ・ 公立保育所やいきいきこどもクラブの整備・改修を進めることによる保育環境の改善



日帰り型産後ケア



改修する三津保育所

生涯現役社会の実現

6億5,706万円

(前年度 6億3,323万円)

住み慣れた地域で生涯健康で暮らせるよう、健康への関心を高めるとともに、介護予防の取組みの支援を行い、健康の保持及び増進を図る。

① 介護予防の推進 (6,218万円)

- ・ 高齢者の心身機能の低下状態（フレイル状態）を早期に発見し対応するため、広島国際大学内の「しあわせ健康センター」をフレイル予防拠点として活用し、健康講座等を開催
- ・ 日常生活圏域担当の保健師と医療専門員が健康課題のある高齢者へのアウトリーチ支援を展開
- ・ 通いの場や地域サロン等における介護予防の取組みを支援するため、元気輝きポイント制度を活用し、高齢者の社会参加、生きがいづくりを促進

② 健康意識の醸成と生活習慣病予防の推進 (5億9,344万円)

- ・ 受動喫煙の防止に関する条例の制定（令和4年4月1日施行）に合わせて、受動喫煙防止区域への標識設置等で啓発を図るとともに、子どもと妊産婦等を受動喫煙から守るための施策を推進
- ・ 元気すこやか健診（集団健診）のオンライン予約導入や基本健診項目等の追加により、生活習慣病予防を推進
- ・ 精神保健相談員の増員や心の悩みを抱える人の居場所づくり

③ 黒瀬地域「健康・福祉と交流のまち」推進 (144万円)

- ・ 「健康スポーツ」の実践を通じて、大学と連携した健康増進、フレイル予防、多世代の交流促進から健康づくりを実施



介護予防に取り組む通いの場（百歳体操）



大学と連携した介護予防・健康づくりの取組み
（フレイル予防健康講座）

資 料 編

1 会計別予算の規模

(単位：千円、%)

区	分	令和4年度 予 算 額	令和3年度 予 算 額	増減額	増減率
一	般 会 計	95,180,000	88,920,000	6,260,000	7.0
特 別 会 計	住宅新築資金等貸付事業	—	1,170	△1,170	皆減
	ひがしひろしま墓園管理事業	10,884	10,860	24	0.2
	特定地域生活排水処理事業	13,596	12,678	918	7.2
	八本松駅前土地区画整理事業	1,377,335	594,595	782,740	131.6
	国民健康保険	15,051,858	15,097,260	△45,402	△0.3
	後期高齢者医療	2,351,692	2,247,128	104,564	4.7
	介護保険	13,171,514	13,783,010	△611,496	△4.4
	(保険事業勘定)	13,160,533	13,740,759	△580,226	△4.2
	(介護サービス事業勘定)	10,981	42,251	△31,270	△74.0
		計	31,976,879	31,746,701	230,178
	合 計	127,156,879	120,666,701	6,490,178	5.4

(注) 水道事業会計、下水道事業会計及び財産区(管理会)特別会計を除く。

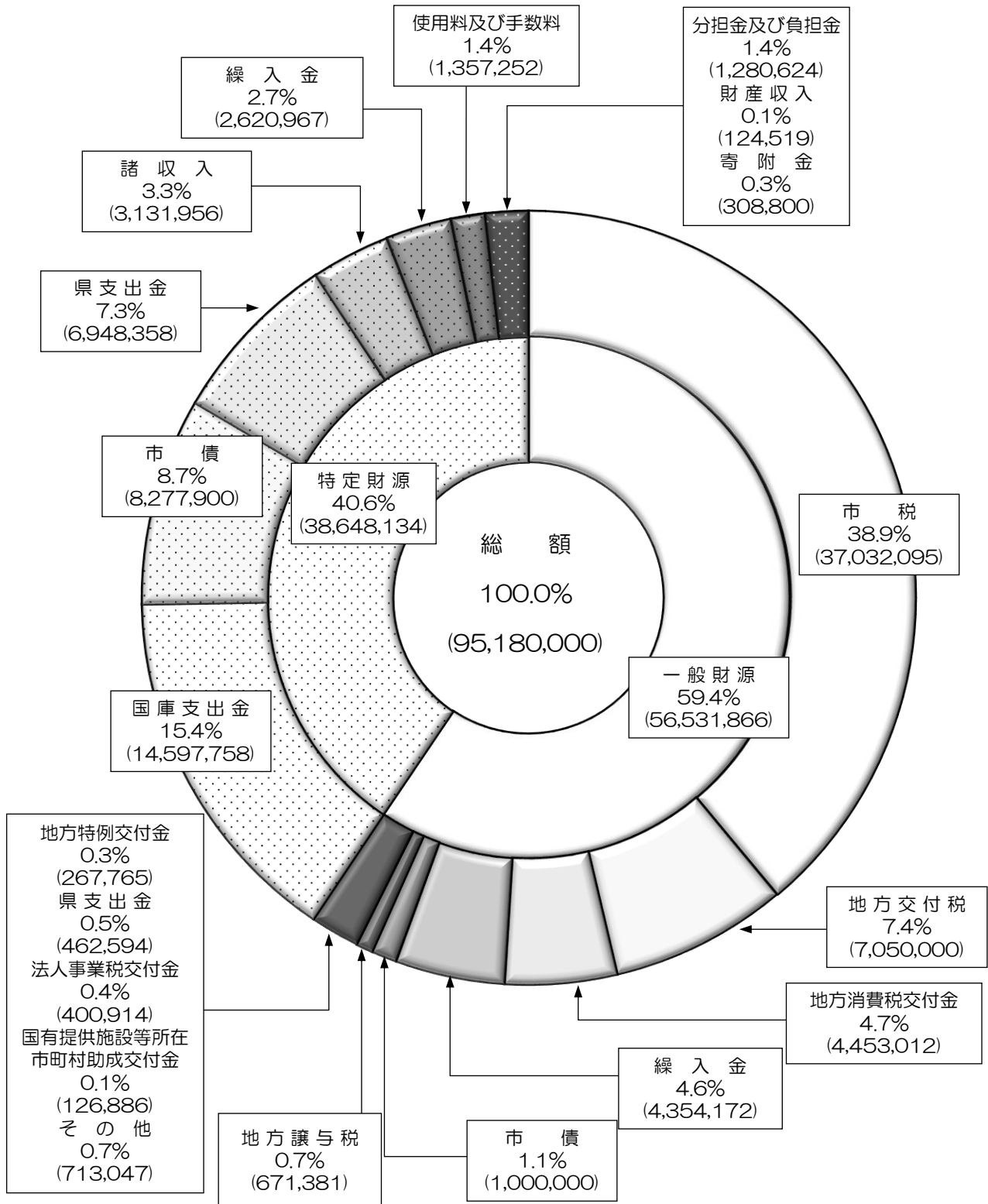
2 一般会計歳入の款別内訳

(単位：千円、%)

区 分	令和4年度 予 算 額	構成比	令和3年度 予 算 額	構成比	対前年増減	
					増減額	増減率
市 税	37,032,095	38.9	34,518,326	38.8	2,513,769	7.3
地 方 譲 与 税	671,381	0.7	660,836	0.8	10,545	1.6
利 子 割 交 付 金	31,449	0.0	28,000	0.0	3,449	12.3
配 当 割 交 付 金	124,734	0.1	121,000	0.1	3,734	3.1
株式等譲渡所得割交付金	169,294	0.2	116,000	0.1	53,294	45.9
法 人 事 業 税 交 付 金	400,914	0.4	292,000	0.3	108,914	37.3
地 方 消 費 税 交 付 金	4,453,012	4.7	4,190,000	4.7	263,012	6.3
ゴルフ場利用税交付金	108,491	0.1	109,000	0.1	△509	△0.5
環 境 性 能 割 交 付 金	101,147	0.1	93,000	0.1	8,147	8.8
国有提供施設等所在 市町村助成交付金	126,886	0.1	129,000	0.2	△2,114	△1.6
地 方 特 例 交 付 金	267,765	0.3	622,000	0.7	△354,235	△57.0
地 方 交 付 税	7,050,000	7.4	4,900,000	5.5	2,150,000	43.9
(普通交付税)	(5,500,000)	(5.8)	(3,550,000)	(4.0)	(1,950,000)	(54.9)
(特別交付税)	(1,550,000)	(1.6)	(1,350,000)	(1.5)	(200,000)	(14.8)
交通安全対策特別交付金	23,674	0.0	24,400	0.0	△726	△3.0
分 担 金 及 び 負 担 金	1,280,624	1.4	1,140,597	1.3	140,027	12.3
使 用 料 及 び 手 数 料	1,372,650	1.5	1,380,263	1.6	△7,613	△0.6
国 庫 支 出 金	14,597,758	15.4	13,379,233	15.1	1,218,525	9.1
県 支 出 金	7,410,952	7.8	7,732,302	8.7	△321,350	△4.2
財 産 収 入	221,130	0.2	212,750	0.2	8,380	3.9
寄 附 金	308,800	0.3	132,000	0.2	176,800	133.9
繰 入 金	6,975,139	7.3	5,884,239	6.6	1,090,900	18.5
繰 越 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
諸 収 入	3,174,204	3.3	2,902,353	3.3	271,851	9.4
市 債	9,277,900	9.8	10,352,700	11.6	△1,074,800	△10.4
(臨時財政対策債除く)	(8,277,900)	(8.7)	(6,502,700)	(7.2)	(1,775,200)	(27.3)
合 計	95,180,000	100.0	88,920,000	100.0	6,260,000	7.0

歳入予算款別構成図

(単位：千円)



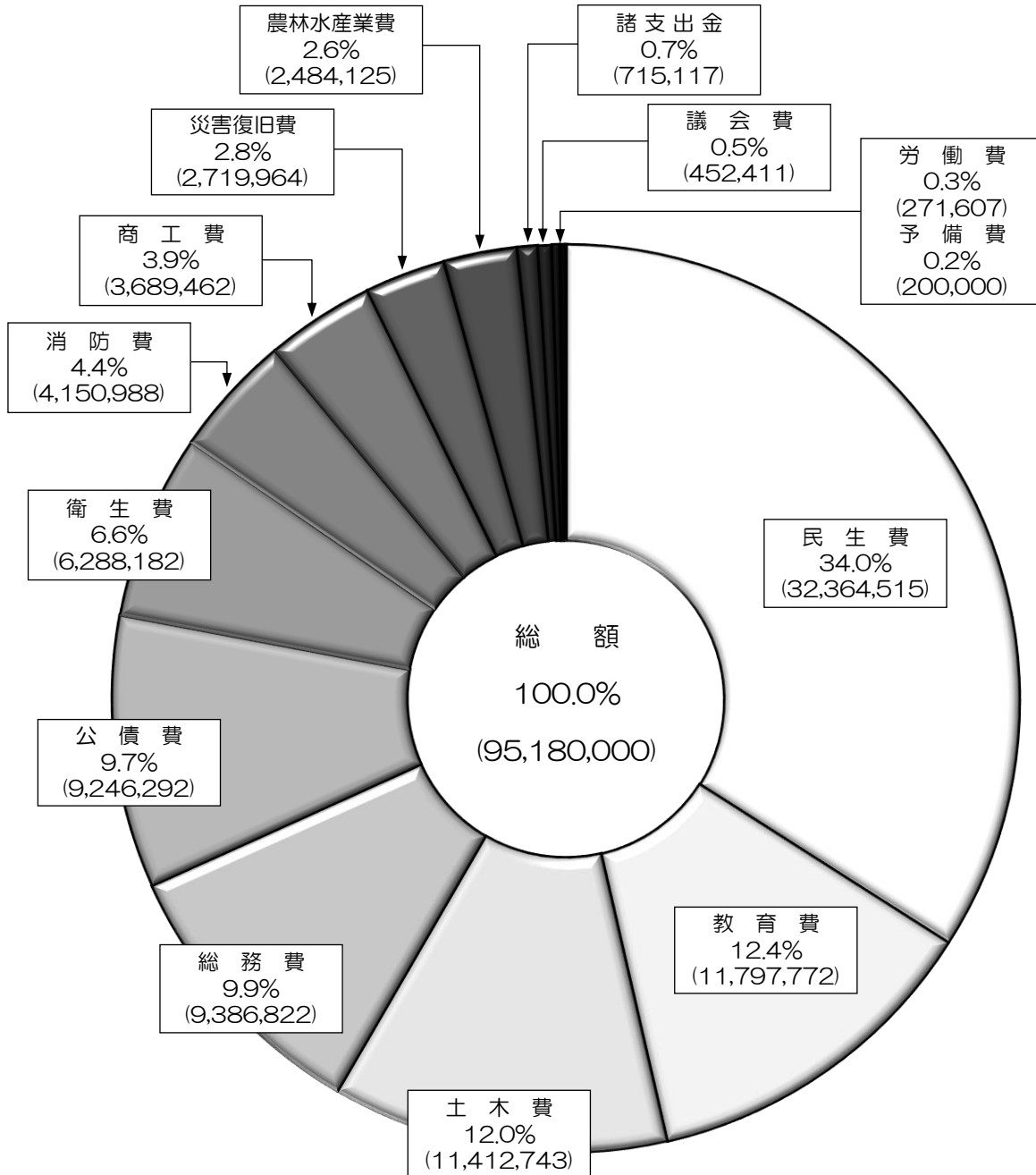
3 一般会計歳出の款別内訳

(単位：千円、%)

区 分	令和4年度 予 算 額	構成比	令和3年度 予 算 額	構成比	対前年増減	
					増減額	増減率
議 会 費	452,411	0.5	451,241	0.5	1,170	0.3
総 務 費	9,386,822	9.9	9,801,114	11.0	△414,292	△4.2
民 生 費	32,364,515	34.0	29,142,867	32.8	3,221,648	11.1
衛 生 費	6,288,182	6.6	7,082,445	8.0	△794,263	△11.2
労 働 費	271,607	0.3	312,678	0.3	△41,071	△13.1
農 林 水 産 業 費	2,484,125	2.6	2,206,916	2.5	277,209	12.6
商 工 費	3,689,462	3.9	3,557,786	4.0	131,676	3.7
土 木 費	11,412,743	12.0	8,940,322	10.1	2,472,421	27.7
消 防 費	4,150,988	4.4	3,658,032	4.1	492,956	13.5
教 育 費	11,797,772	12.4	10,818,114	12.2	979,658	9.1
災 害 復 旧 費	2,719,964	2.8	2,822,086	3.2	△102,122	△3.6
公 債 費	9,246,292	9.7	9,179,396	10.3	66,896	0.7
諸 支 出 金	715,117	0.7	747,003	0.8	△31,886	△4.3
予 備 費	200,000	0.2	200,000	0.2	0	0.0
合 計	95,180,000	100.0	88,920,000	100.0	6,260,000	7.0

歳出予算款別構成図

(単位：千円)



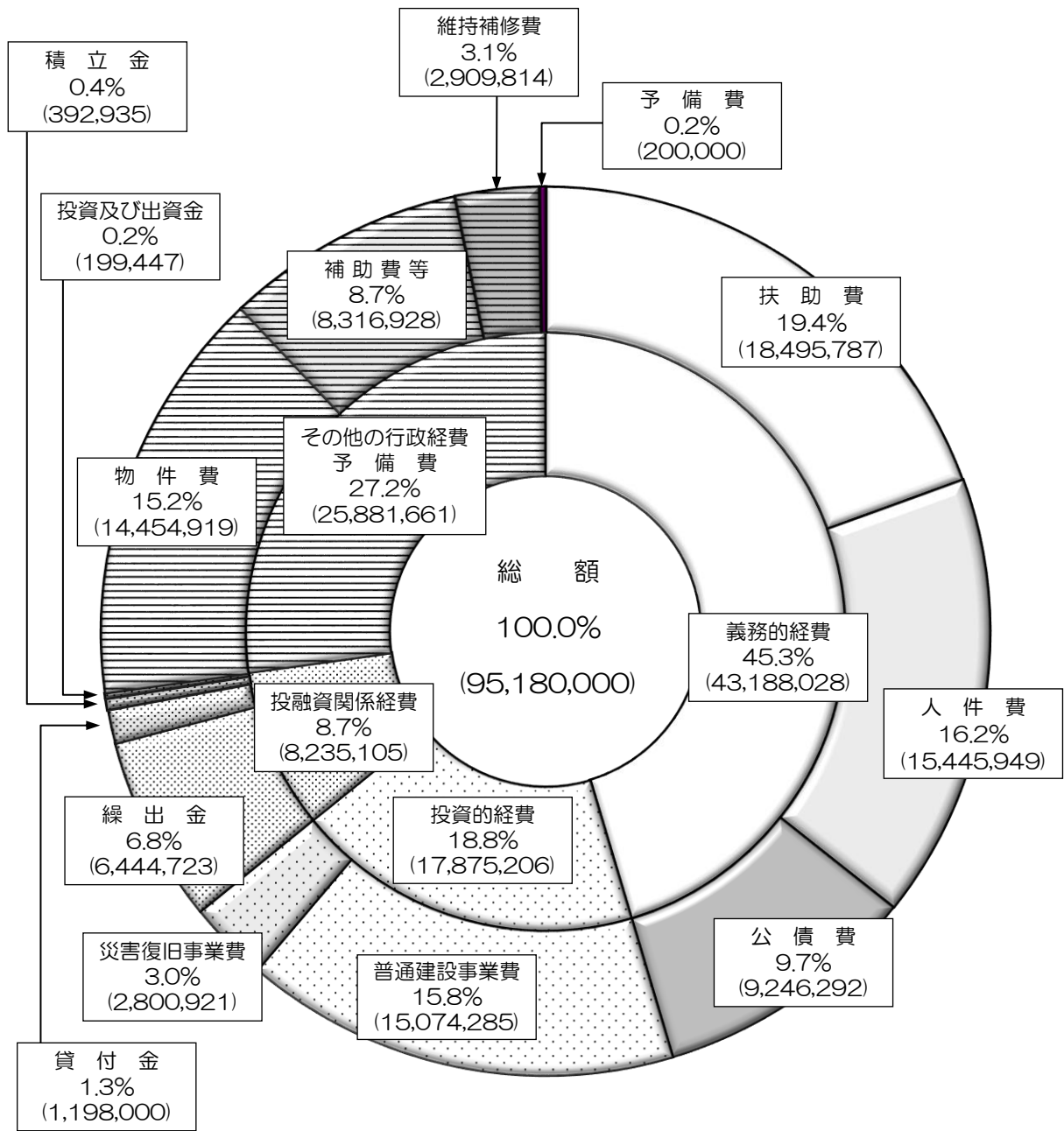
4 一般会計歳出の性質別内訳

(単位：千円、%)

区 分	令和4年度 予 算 額	構成比	令和3年度 予 算 額	構成比	対前年増減	
					増減額	増減率
人 件 費	15,445,949	16.2	15,367,287	17.3	78,662	0.5
扶 助 費	18,495,787	19.4	17,747,450	20.0	748,337	4.2
公 債 費	9,246,292	9.7	9,179,396	10.3	66,896	0.7
義務的経費計	43,188,028	45.3	42,294,133	47.6	893,895	2.1
普通建設事業費	15,074,285	15.8	11,546,021	13.0	3,528,264	30.6
災害復旧事業費	2,800,921	3.0	2,892,176	3.3	△91,255	△3.2
投資的経費計	17,875,206	18.8	14,438,197	16.3	3,437,009	23.8
積 立 金	392,935	0.4	315,838	0.4	77,097	24.4
投資及び出資金	199,447	0.2	99,350	0.1	100,097	100.8
貸 付 金	1,198,000	1.3	1,198,000	1.3	0	0.0
特 定 地 域 生 活 排 水	4,818	0.0	3,763	0.0	1,055	28.0
八 本 松 駅 前 土 地 区 画 整 理	714,065	0.8	139,546	0.2	574,519	411.7
国民健康保険	1,357,561	1.4	1,351,346	1.5	6,215	0.5
後期高齢者医療	447,617	0.5	432,758	0.5	14,859	3.4
後期高齢者医療 広域連合負担金	1,887,156	2.0	1,846,680	2.1	40,476	2.2
介 護 保 険	2,033,506	2.1	2,272,904	2.5	△239,398	△10.5
繰 出 金 計	6,444,723	6.8	6,046,997	6.8	397,726	6.6
投融资関係経費計	8,235,105	8.7	7,660,185	8.6	574,920	7.5
物 件 費	14,454,919	15.2	14,086,193	15.8	368,726	2.6
維 持 補 修 費	2,909,814	3.1	1,809,900	2.0	1,099,914	60.8
補 助 費 等	8,316,928	8.7	8,431,392	9.5	△114,464	△1.4
その他の行政経費計	25,681,661	27.0	24,327,485	27.3	1,354,176	5.6
予 備 費	200,000	0.2	200,000	0.2	0	0.0
合 計	95,180,000	100.0	88,920,000	100.0	6,260,000	7.0

歳出予算性質別構成図

(単位：千円)



5 第五次総合計画のまちづくり大綱に掲げる施策を推進する予算

(1) 一般会計

(単位:千円)

【5つの柱】	目的別事業群	分野別共通基盤	
	目的別事業群による政策的経費	各分野を支える基盤事業及び人件費	
1 仕事づくり	5,523,114	526,326	職員給与・農政管理事務
2 暮らしづくり	8,380,042	7,178,764	職員給与・広島中央環境衛生組合負担金・八本松駅前特会繰出金・公営企業繰出金・公園管理・地域センター管理運営等
3 人づくり	6,980,420	4,873,864	職員給与・学校給食センター管理運営・小学校管理・中学校管理・幼児教育支援等
4 活力づくり	1,679,487	419,377	職員給与
5 安心づくり	8,883,774	35,341,560	職員給与・私立保育所給付・障害者自立支援給付・児童手当支給事業等
小 計	31,446,837	48,339,891	
5つの柱を支える共通基盤		15,393,272	職員給与・議会費・電算関連費・庁舎管理費・公債費等
一般会計予算額		95,180,000	

(2) 特別会計

(単位:千円)

【5つの柱】	目的別事業群	特別会計名称
2 暮らしづくり	1,353,027	八本松駅前土地区画整理事業
	11,721	特定地域生活排水処理事業
5 安心づくり	160,559	国民健康保険
	394,805	介護保険
合 計	1,920,112	水道事業・下水道事業分を除く

(3) 5つの柱の予算額

(単位:千円)

一般会計+特別会計	33,366,949
-----------	------------

※第五次総合計画のまちづくり大綱における主な事業の記載事項

1 5の大綱、30の施策、60の目的別事業群ごとに整理しています。

2 予算額は目的別事業群ごとの金額を記載しています。
一般会計以外は、金額の左に会計名を記載しています。

3 事業名欄に付している記号について

新	⇒令和4年度新規の取組み
---	--------------

拡	⇒令和4年度拡充の取組み
---	--------------

「○」⇒目的別事業群内の取組みで重点的に実施するもの

6 第五次総合計画のまちづくり大綱における主な事業

1 【仕事づくり】 知的資源と産業力で多様な仕事生まれるまち

(単位：千円)

事業名	予算額	主な事業内容	担当部局
1 産業イノベーションの創出			
① イノベーション創出環境の充実 拡 ○東広島イノベーションラボ ミライノ+の活用 新 ○学生の創造的ビジネス活動の推進	76,591	多様な人や団体が幅広く活動し、相互に交流することで、創業や社会の課題解決等を志向する場の創出を図ります。また、ビジネススキル向上等に挑戦する学生を支援し、新たなビジネス活動を推進します。	産業部
2 中小企業等の活力強化			
① 中小企業等の活力強化 ○Hi-Bizによるハンズオン支援 ○新型コロナウイルス感染症に対する事業者支援 新 ○(仮称)産業支援連携チームの設置	1,183,325	Hi-Bizによる経営相談や新型コロナウイルス感染症に対する事業者への支援を継続するとともに、(仮称)産業支援連携チームを設置する等、地域経済を支える中小企業等の活力強化を図ります。	産業部
3 企業の投資促進			
① 企業誘致・留置と投資促進 ○企業活動拠点整備への支援 ○企業立地促進助成(工場等設置助成金・施設整備助成金) ○産業集積促進助成	1,911,625	各種助成金の活用により、民間事業者の活動拠点整備や工場等の設備投資を促進することで、企業誘致・留置を図り、産業構造の複層化や技術の高度化を支援します。	産業部
② 設備投資・最新技術導入の促進 ○生産効率の向上及び投資促進に関する取組み ○企業活動の活性化を支援する取組み	36,322	先端設備導入計画の認定や助成金の活用により、市内企業の生産性向上に資する投資を支援するとともに、企業活動の認知度向上を図る取組み等により、地域と企業との一体感を高めます。	産業部
4 農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化			
① 地域社会の持続のための農林水産業の推進 新 ○集落法人の設立に向けた新たな支援 新 ○企業等とのパートナーシップによる森林の適正管理 新 ○豊かな漁場環境づくりに向けた取組み	1,582,028	集落営農の育成と支援に取り組むほか、営農基盤の保全及び整備、農地の利用の最適化や有害鳥獣対策を推進します。また、持続可能で効率的な森林管理を推進するとともに、水産業の発展を支援します。	産業部 建設部
② 農林水産業の高収益化の推進 新 ○高度化技術等を活用した園芸農業の振興 ○農林水産物のPR及び販路拡大 ○地産地消の拡大に向けた販売拠点の形成	267,611	施設栽培の高度化技術の活用や農業基盤整備への支援により園芸作物の生産性向上を図ります。また、市内産品のブランド化を進め、道の駅や直売所とも連携して、販路拡大及び農業者の所得向上を図ります。	産業部
5 地域資源を活かした観光の振興			
① 日本酒のまちの魅力向上 拡 ○東広島市立日本酒大学の開催 ○西条酒蔵通り周辺の案内サインの更新	41,350	日本酒について様々な視点から学ぶ場を提供し、市随一の特産品である日本酒の振興を図ります。また、西条酒蔵通り周辺の受け入れ体制を強化し、観光客の満足度向上を図ります。	産業部
② 観光コンテンツ開発及び地域産業づくり 拡 ○観光協会との連携による一元的な観光プロモーション 拡 ○地域の観光資源や特産品を活かした観光コンテンツの開発 新 ○観光推進組織による戦略的な観光振興	151,529	ディスカバー東広島(DMO)や観光協会と連携し、戦略的な観光振興と一元的なプロモーションを展開します。また、コロナとの共生を見据えた観光事業や地域のにぎわいを創出するイベントを支援します。	産業部

(単位：千円)

6 働き方改革の推進による雇用環境の充実		
① 働き方改革の推進 ○ワークライフバランスの講座の開催 ○働く女性のためのセミナーの開催 1,126	働く女性・働こうとする女性を応援するセミナー等を実施するとともに、仕事と生活の調和の実現に向け、ワークライフバランスの普及促進を図ります。	生活環境部
② 多様な人材の活躍促進 拡 ○学生等の市内企業への就職促進 ○勤労者福祉の推進 271,607	Webを活用した採用・就職活動を支援する等、高校生や大学生をはじめとした求職者と企業の双方にメリットのある効果的な施策を展開することで、市内企業への多様な人材の就職促進を図ります。	産業部 生活環境部 健康福祉部

2 【暮らしづくり】 自然と利便性が共存する魅力的な暮らしのあるまち

(単位：千円)

事業名	予算額	主な事業内容	担当部局
1 暮らしを支える拠点地区の充実			
① 良好な市街地形成の推進 ○八本松駅前土地区画整理の推進 ○西条第二地区の整備 八本松駅前土地区画整理事業特別会計	1,129,569 1,353,027	八本松駅前において、道路や雨水管渠等の整備とともに宅地の区画を整備することで、良好な都市環境を形成します。また、西条第二地区において地区計画道路を整備し、良好な交通環境を形成します。	都市部
② 住環境の整備・保全 ○空き家対策の推進 ○市営住宅ストックの適切な管理	118,962	空家等の発生を減少させるため、その活用等に係る費用を支援することで、空家等の削減に取り組みます。また、市営住宅を適切に管理することで長寿命化等を図ります。	都市部
2 安全で円滑な生活交通の充実			
① 生活交通ネットワークの充実 ○地域が主体となった公共交通導入への支援（志和・小谷） ○地域が主体となった移動手段への支援（黒瀬・入野） ○コミュニティバスの運行	71,155	市民の移動利便性向上のため、地域のコミュニティバス等の運行支援や地域主体による公共交通の導入に向けた伴走支援を行い、「地域で守り、支える」モビリティマネジメントの推進・強化を図ります。	地域振興部
② 市道、街路、国県道の整備・保全 ○橋梁等道路施設の長寿命化の促進 ○都市計画道路の整備促進 ○道路等の維持修繕の拡充	4,149,033	地域の实情に合わせた道路交通網の構築や道路構造物の定期的な点検に基づく予防保全により、交通の利便性及び安全性の向上を図ります。	建設部 都市部
3 快適な生活環境の形成			
① 循環型社会の構築 拡 ○生ごみのたい肥化の促進 ○ごみ減量化の促進 ○ごみの適正収集・処理	1,360,878	循環型社会の構築を目指して、ごみの減量化・資源化のため、生ごみの水切りやたい肥化に取り組む等、食品ロス削減や3R活動を推進します。また、ごみの適正な分別を促し、適正収集・処理を行います。	生活環境部
② 水の安定供給 ○水道施設の整備・更新・強靱化 ○安全な飲料水の確保 ○水道事業経営の健全化 水道事業会計	12,115 7,210,976	水道施設の適正な維持管理、計画的な整備・更新（耐震化）・強靱化を行うとともに、民間委託の活用等により効率的な経営に努め、安全で良質な水を安定的に供給します。	水道局 生活環境部
③ 公共用水域の水質保全 ○下水道事業の推進 ○浄化槽設置整備の促進 特定地域生活排水処理事業特別会計 下水道事業会計	61,592 11,721 11,000,409	下水道未普及地域の管渠整備、東広島浄化センターの増設による下水道事業の推進及び合併浄化槽の普及促進により、公共用水域の水質保全を図ります。	下水道部 生活環境部
4 豊かな自然環境の保全			
① 豊かな自然環境の保全 ○環境汚染の未然防止 ○犬・猫の適正な飼養の促進 新 ○動物愛護教室の実施	44,471	豊かな自然環境を保全し、市民の健康で快適な暮らしを維持するため、環境調査・監視、環境保全の啓発、犬・猫の適正な飼養の促進及び動物愛護教室を開催します。	生活環境部

(単位：千円)

5 市民協働のまちづくりによる地域力の向上		
① 市民協働のまちづくりによる地域力の向上 ○住民自治協議会等の持続可能な活動の支援 ○地域の活動拠点の充実 1,389,272	地域の課題解決等に向けた活動を支援するとともに、住民自治協議会や市民活動団体への支援機能を強化します。また、学校施設等も活用しつつ、地域センター等の活動拠点の整備・充実を図ります。	地域振興部
6 多文化共生と国際化の推進		
① 言語・文化等の違いによらない円滑な暮らしの実現 ○相談体制の充実 ○コミュニケーション支援 拡 ○外国人市民の地域活動への参加促進 33,213	外国人市民が個性と能力を発揮し、安心して快適に暮らし、地域社会で活躍できるよう、様々な形態の日本語教室の開催や情報発信に加えて、地域と連携し、外国人市民の地域活動への参加を促進します。	生活環境部
② 国際交流と相互理解の促進 ○交流機会の創出と活動の支援 ○意識啓発、異文化理解の促進 9,782	外国人と日本人が相互理解のもと、ともに市民として暮らすことができるよう、誰もが参加しやすい交流機会を創出するとともに、「やさしい日本語」の普及等、異文化理解を促進します。	生活環境部

3 【人づくり】 誰もが夢を持って成長し活躍できるまち

(単位：千円)

事業名	予算額	主な事業内容	担当部局
1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進			
① 人権啓発の推進 ○人権意識高揚に係る啓発の推進	4,863	人権問題に対する正しい理解と認識を深めるため、社会情勢や市民意識を反映させた各種啓発活動を実施します。	生活環境部
② 男女共同参画の推進 ○男女共同参画理解促進に係る啓発の推進 新 ○「エスポワール」の紹介リーフレットの作成 新 ○出張型エスポワールの実施	4,265	男女共同参画に関する意識の啓発と理解を促進するため、その実現を目指す団体等への支援を行います。また、男女共同参画推進室「エスポワール」の認知度向上のため、出張型の啓発活動を実施します。	生活環境部
③ 平和を希求する人材の育成 ○平和学習の場の提供 ○平和に関する資料の保存	1,589	戦争体験や被爆証言を次世代へ継承し、戦争と核兵器の悲惨さについて学ぶ機会を確保するとともに、全国の自治体や平和活動団体と連携し、平和・非核兵器に関する情報を広く発信します。	総務部
2 乳幼児期における教育・保育の充実			
① 幼児教育・保育の充実 新 ○未来を担うこどもの育ちサポート ○魅力ある保育環境づくりの充実 ○幼保小の連携・接続の推進、研修の充実	21,413	乳幼児期からの教育・保育の質を高めるため、広島大学と連携して、保育施設等を訪問し、教育・保育内容等の助言を行うとともに、教育・保育環境の改善や研修の充実を図ります。	こども未来部 学校教育部
3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践			
① 学校運営の支援と教育内容の充実 新 ○学校支援センターの設置 拡 ○学校運営協議会の設置 拡 ○小・中学校の施設整備等	4,645,756	学校支援センターにおいて、学校支援の充実を図るとともに、学校運営協議会を設置し、地域とともにある学校の実現を目指します。また、西条小学校の増築、各小中学校の長寿命化改良工事等を行います。	学校教育部
② 特別なニーズに対応した教育の充実 ○特別支援教育の推進 拡 ○小・中学校教育支援者の配置 ○外国につながる児童生徒への教育の推進	586,869	学校教育支援員や教育補助員等を配置することで、特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実を図るとともに、外国につながる児童生徒へのきめ細かな教育を推進します。	学校教育部
③ 地域と連携した青少年健全育成の環境づくり 拡 ○生徒指導の推進 ○児童の放課後活動の充実 ○地域学校協働活動の推進	75,720	校内特別支援教室の設置やスクールソーシャルワーカーを拡充し、不登校等の解決に取り組みます。また、地域学校協働活動推進員の配置や放課後子供教室の実施により、地域と学校の協働を推進します。	学校教育部 生涯学習部
4 新たな価値を創造する人材の育成			
① 理数系教育分野等の教育内容の充実 ○児童生徒の科学の芽の育成	6,159	大学や企業等の協力を得て、科学技術等に関する体験的な学習を通じて興味や関心を醸成することで、理数系の学習が好きな児童生徒の裾野の拡大に取り組みます。	学校教育部
② 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実 ○文化芸術体験の振興 ○創造性豊かな学びつなげる講座の実施	4,506	美術館や出前博物館等の体験を通じて、文化芸術に直接触れる機会を提供するとともに、市内の大学の知見を活用した講座の開催により、創造性豊かな子どもの育成につながる学びの充実を図ります。	生涯学習部

(単位：千円)

5 知的資源と国際性を活かした人づくり		
① 大学・企業等との連携による学びの充実と国際感覚の醸成 ○未来創造及びキャリアの形成 ○グローバルマインドの育成 ○大学や試験研究機関と連携した学びの充実	2,787	大学等と連携し、市民の豊かな学びにつながる講座を実施します。また、留学生等と連携し、児童のグローバルマインドの醸成を図るとともに、職場体験を通じて生徒が主体的に進路を選択する力を育てます。
6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり		
① 生涯を通じて地域で学び、活躍できる環境の整備 新 ○「学びのキャンパス推進」に向けた基礎調査の実施 ○環境整備やICT等を活用した図書館サービスの提供	692,762	市全体が学びのキャンパスとなり、「学び」が「実践」につながる好循環を生むための行動計画の策定に向けた調査を行うとともに、図書館の環境整備や電子図書館の充実等によるサービスの向上を進めます。
② 芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承 拡 ○芸術文化の振興 ○歴史民俗資料館、文化財収蔵庫の集約 ○東広島市史の編さん	595,435	芸術文化ホール「くらら」や美術館を中心に市民の芸術や文化に触れる機会の創出と、文化芸術活動の参加を促進します。また、文化財の保護や施設等の整備を行うとともに、東広島市史の編さんを進めます。
③ 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成 新 ○黒瀬多目的グラウンドに手洗い・水飲み場等の整備 ○スポーツを活用した地域活動活性化の推進	338,296	安全で快適にスポーツ活動ができるよう施設を整備・管理運営し、各競技の聖地化について検討します。また、市民スポーツ大会に新競技ペタンクの導入を進める等、スポーツ活動や地域交流を支援します。

4 【活力づくり】 学術研究機能や多様な人材の交流から新たな活力が湧き出すまち

(単位：千円)

事業名	予算額	主な事業内容	担当部局
1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出			
① 大学等の知的資源を活かしたイノベーションの創出環境の充実 ○Town&Gown Officeの運営及び活動プロジェクトへの支援 ○次世代学園都市構想の実現に向けた基盤構築 ○次世代学園都市構想に基づく事業展開	144,040	次世代学園都市構想に基づくエリアデザイン等の事業展開や基盤構築に取り組むとともに、大学と一体となったまちづくりを進めるため、Town&Gown Officeの運営及びプロジェクト等を支援します。	総務部(経営)
② 大学との連携によるまちづくりの推進 拡 ○大学との連携体制の構築	10,368	市と大学が一体となった魅力あるまちづくりを進めるため、Town&Gownの市内大学への展開や各大学の特色を活かした連携事業の充実を図ります。	総務部(経営)
2 多様な市民の力が輝くまちづくり			
① 多様な人材力が発揮できる環境の充実 ○学生の地域活動の促進	18,100	学生や留学生等が活躍できる環境の充実を図るため、関係機関等と連携し、地域活動及び体験・交流機会の創出や主体的な活動への支援、学生の活動拠点の形成、コーディネート機能の充実等を図ります。	総務部(経営)
② 移住・定住の促進とにぎわいや交流の創出 ○移住・定住の促進に向けた情報発信と支援 ○港湾沿岸地域の再編	18,898	移住促進特設Webサイトにより移住関連情報を発信するとともに、各種支援により移住を促進します。また、にぎわいや交流の創出に向け、港湾周辺の拠点機能の向上を図ります。	地域振興部 建設部
3 都市成長基盤の強化・充実			
① にぎわいと魅力ある都市空間の形成 ○景観を活かしたまちづくりの推進 ○中央生涯学習センター跡地及び周辺公有地の活用に係る基本計画の策定	54,736	酒蔵地区の街並みと調和した景観保全のため、西条本通線の美装化を進めます。また、中央生涯学習センター跡地及び市役所本庁舎北側敷地等の跡地周辺公有地の活用について基本計画を策定します。	都市部 総務部(経営)
② 新たな産業基盤の整備 ○産業基盤の整備に向けた検討 ○産業用地開発助成	111,956	進出ニーズの高い地域における新たな産業用地の確保に向けた検討を行うとともに、助成金の活用により、民間企業の産業用地開発を促進し、新たな産業基盤の整備を推進します。	産業部
4 交通ネットワークの強化			
① 公共交通ネットワークの強化・充実 拡 ○東広島市都市交通マスタープラン等の改訂 ○バス交通結節点の整備(下見・鏡山地区、黒瀬地区) ○西高屋駅の結節点機能強化と拠点施設整備	1,011,253	市民や来訪者の広域移動を見据えた交通機能の強化を図るため、バス交通結節点を整備するとともに、西高屋駅の南北自由通路や駅前広場及び情報ラウンジ棟(情報ライブラリ等)を整備します。	地域振興部 都市部
② 高規格幹線道路及び幹線道路交通網の整備 ○国・県幹線道路整備	55,220	慢性的な交通渋滞を解消し、産業活動や広域連携強化のため、各道路整備期成同盟会の活動費や、国・県道路整備費の一部を負担することで、幹線道路交通網の整備を促進します。	都市部

(単位：千円)

5 環境に配慮した社会システムの構築		
① 環境に配慮した社会システムの構築	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、地域を定めて先行的な取組みを行うとともに、市民等に対する省エネ・創エネ設備の導入促進や、持続可能な環境都市の実現に向けた啓発します。	財務部 生活環境部 こども未来部 産業部 消防局
新 ○脱炭素先行地域の形成		
拡 ○地球温暖化対策実行計画等の改訂		
新 ○環境価値（Jクレジット）の創出	68,411	
6 未来を感じるプロジェクト挑戦都市		
① 「まるごと未来都市」の形成に向けた取組みの展開	市民ポータルサイトへのサービスの一元化や、生活者発想で創り上げる住民参加型の共創の仕組みづくりと構想の策定、SDGsの取組みを推進し、最先端技術を活用した持続可能な都市の実現を目指します。	総務部(経営)
○市民ポータルサイトの運用		
新 ○「生活価値創造のまち」の実現に向けた共創の仕組み構築		
拡 ○SDGsの推進	186,505	

5 【安心づくり】 自助・互助・共助・公助によって安心した生活を送れるまち

(単位：千円)

事業名	予算額	主な事業内容	担当部署
1 災害に強い地域づくりの推進			
① 災害対応力の強化 新 ○東広島防災Webの導入 拡 ○河川監視カメラの増設、既存カメラへの暗視機能の追加 新 ○防災情報伝達手段の調査・検討	262,096	災害対応力を強化するため、各種機能を統合した防災システムの導入、河川監視カメラの増設及び既存のカメラへの暗視機能追加のほか、防災メール等の情報伝達手段のあり方について調査・検討します。	総務部 財務部
② 地域防災力の強化 拡 ○中小河川浸水想定区域の周知 ○自主防災活動の促進 ○消防団と自主防災組織との連携強化	40,152	地域防災力を強化するため、消防団との連携や地域防災リーダーの育成等により自主防災組織の活動を支援するとともに、新たに指定された中小河川の浸水想定区域を周知します。	総務部 消防局
③ 防災・減災のための基盤整備 ○総合治水対策の推進 ○河川における浚渫等の維持修繕 ○急傾斜地等の整備	2,169,586 下水道事業会計 1,421,817 水道事業会計 19,290	浸水被害を軽減するため、ソフト対策と連携し、雨水貯留施設の検討、大型排水ポンプの配備、雨水幹線の整備や河川浚渫等の流域治水対策に取り組みます。また、市民の生命や財産を守るため、急傾斜地等の整備や、非常時の補水拠点の整備を推進します。	建設部 都市部 下水道部 水道局
2 安全・安心な市民生活の実現			
① 安全・安心な市民生活の実現に向けた環境づくり ○交通安全の推進 ○犯罪被害を未然に防ぐための環境づくり	30,211	安全・安心な市民生活の実現に向け、交通指導、啓発や交通事故現場での対応の検討等を行うとともに、犯罪被害にあいにくい環境を整えるため、防犯灯や防犯カメラの設置を推進します。	総務部
② 消防・救急・救助体制の強化 ○消防庁舎等の整備 ○常備消防車両等の整備 ○消防水利の整備	952,555	消防需要の増加への対応、現場への到着時間の短縮及び消防力の向上を図るため、体制の強化、消防施設及び常備消防車両等の整備を推進します。	消防局
③ 火災予防・応急手当の普及・啓発 ○火災予防啓発の推進 新 ○救急ワークステーションでの実習 新 ○救急業務総合支援システムの構築	75,221	火災予防啓発及び応急手当講習を実施するとともに、救命率向上のため、救急救命士の実習の強化及び救急現場で医療機関と傷病者の状況をリアルタイムで共有するシステムを構築します。	消防局
3 総合的な医療体制の確立			
① 持続可能な救急医療体制の整備 ○病院群輪番制の運営 ○二次救急医療機関への支援 ○休日診療所の運営	177,507	適切かつ必要な医療を効果的に提供するとともに、休日・夜間等における初期救急及び二次救急医療体制の整備・確保を図ることで、市民の健康保持を支援します。	健康福祉部
② 高度専門医療の機能充実 新 ○寄附講座の設置による医療体制の充実 ○小児救急医療及び医師養成に対する支援	77,431	東広島医療センターにおける小児周産期医師等の確保及び医療人材の育成を図るため、広島大学に寄附講座を設置します。また、小児救急医療の実施に対する支援や初期臨床研修奨励金制度を運用します。	健康福祉部
③ 災害時、感染症まん延時の対応 ○高齢者インフルエンザ・高齢者肺炎球菌予防接種の実施 ○風しんの抗体検査及び予防接種の実施 拡 ○新型コロナウイルス感染症の療養者支援	183,251	感染まん延時の緊急事態においても、影響を最小限にとどめるため、各種ワクチン接種に係る助成を行います。また、新型コロナウイルス感染症対策として、衛生資材の調達や自宅療養者を支援します。	健康福祉部

(単位：千円)

4 健康寿命の延伸による生涯現役社会の実現		
① 健康維持の推進	受動喫煙の防止に関する条例制定に合わせた子どもや妊産婦等を守るための施策の推進、健診項目の充実等による受診率向上と生活習慣病の予防、精神保健相談員の増員によるこころの健康づくり等に取り組むことで、市民の健康維持を支援します。	健康福祉部
新	○受動喫煙の防止に関する施策の推進	
拡	○元気づこやか健診の充実	
拡	○自殺予防・依存症対策の推進	434,316
	国民健康保険特別会計	160,559
② 介護予防の推進	フレイル予防の5本柱（社会参加・運動・口腔・栄養・睡眠）の周知、医療専門職による個別支援や通いの場等への積極的に関与することで介護予防を図ります。	健康福祉部
	○高齢者のフレイル予防の推進	
	○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施による支援の充実	62,178
5 誰もが生き生きと暮らせる地域共生社会の実現		
① 地域包括ケアシステムの深化・推進	元気輝きポイント制度による支援や、地域資源を活用した地域包括支援センターの運営、介護人材の育成・確保に取り組むことで、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう地域における受け皿づくりやサービス提供力を強化します。	健康福祉部
	○地域による介護予防等活動への支援	
拡	○地域包括支援センターの機能強化	
拡	○介護人材の育成・確保	545,227
	介護保険特別会計	394,805
② 障害者の自立支援	障害に対する理解の促進とともに、障害者が持てる能力を最大限に発揮し、地域で生活ができるよう相談支援や福祉助成券の交付等により支援します。	健康福祉部
	○障害者の理解促進と社会参加の支援	
	○障害者就労に関わる支援	
	○障害者の地域生活支援	358,217
③ 地域での支え合いの促進と総合的な相談支援体制の構築	地域共生社会の実現に向けて、コミュニティソーシャルワーカーを増員し、ひきこもりやヤングケアラー等の複合的課題を持つ人の早期発見と支援、関係機関のネットワーク構築に取り組みます。	健康福祉部 こども未来部
拡	○市民に身近な地域活動の支援	
新	○地域の福祉ニーズの把握と早期発見の仕組みづくり	
新	○ヤングケアラーの啓発と支援	186,377
6 安心して子どもを産み育てられる環境づくり		
① 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の構築	地域で安心して子育てができるよう、産後ケア体制を強化するとともに、母子保健事業のデジタル化を進める等、支援サービスの充実を図ります。また、こども食堂を支援し、居場所づくりを推進します。	こども未来部 生涯学習部
拡	○出産前後の支援サービスの充実	
拡	○SNSを活用した子育て支援情報の発信	
新	○こども食堂の情報発信と活動支援	693,775
② 保育環境の充実	保育環境を充実させるため、公立保育所等の建替え及び移転民営化を推進し、私立保育所等の施設整備を支援します。また、公立放課後児童クラブ施設の建替え及び民間放課後児童クラブの運営を支援します。	こども未来部 生涯学習部
新	○公立保育所等の建替え及び移転民営化	
拡	○私立保育所等の施設整備	
	○放課後児童クラブの充実	2,635,674

令和4年度東広島市水道事業会計予算（案）の概要

1 予算（案）の特徴

（単位：千円）

①水道施設の整備・更新・強靱化

要望に基づき、真に給水を必要としている地域の配水管整備を行うほか、計画に基づき水道管をはじめとした水道施設の更新及び耐震化を進めます。

ア	第6期拡張事業（H29～R12）	全体概算事業費：5,906,146	(R4予算 662,702)
	○ 上水道拡張工事（配水管布設等9地域）	606,495	
	○ 配水管測量設計業務等（7地域）	56,207	
イ	管路更新計画（H24～R10）	全体概算事業費：5,160,542	(R4予算 480,506)
	○ 管路更新（耐震化）工事（配水管布設替10地域）	313,768	
	○ 配水管布設替測量設計業務等（7地域）	131,362	
新	○ 配水管布設替工事監督業務	35,376	
ウ	施設更新計画（H23～R10）	全体概算事業費：3,360,860	(R4予算 273,889)
	○ 配水池耐震補強・防水補修工事（2地域）	99,539	
	○ ポンプ所電気・機械設備工事	154,000	
	○ 配水池等耐震診断調査業務	20,350	
エ	設備更新計画（R2～R32）	全体概算事業費：12,319,125	(R4予算 115,800)
	○ 水道施設設備更新実施設計業務（電気・機械・計装）	19,800	
	○ 水道施設設備更新工事（電気・機械・計装）	96,000	

②安全な飲料水の確保

安全で良質な水を安定的に供給するという水道事業の使命を果たすべく、水質管理を徹底し、水質異常の早期発見に努めるとともに、施設の適正な維持管理を行います。

	○ 水質検査業務、管末水質監視業務、水源監視業務	62,911
	○ 浄水場管理業務、巡回点検業務	15,640
新	○ 水管橋、減圧弁点検業務	23,066

③水道事業経営の健全化

経営基盤の強化に向け、漏水の低減に取り組むとともに、民間委託を活用するなど、効率的な経営を行い、事業の健全性を維持します。

	○ 漏水調査業務	7,928
	○ 水道施設維持管理等業務	30,360
拡	○ 水道料金等徴収業務	168,056

④応急給水対策の推進

非常時において、飲料水等を迅速に確保するため、配水池の機能強化を推進します。

	○ 配水池遠隔操作仕切弁設置実施設計業務（2箇所）	7,290
	○ 給水塔設置工事（1箇所）	12,000

2 予算（案）の規模

（1）業務予定量

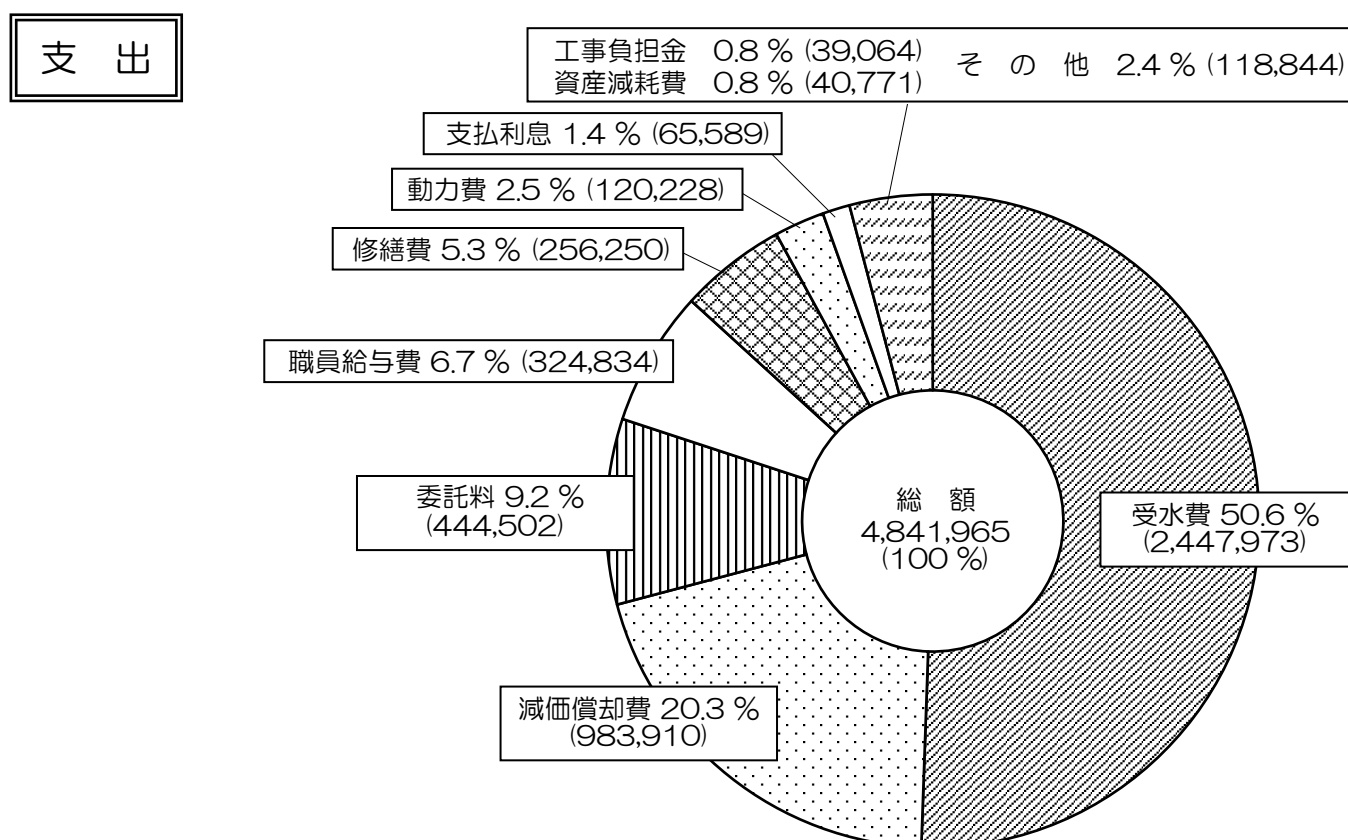
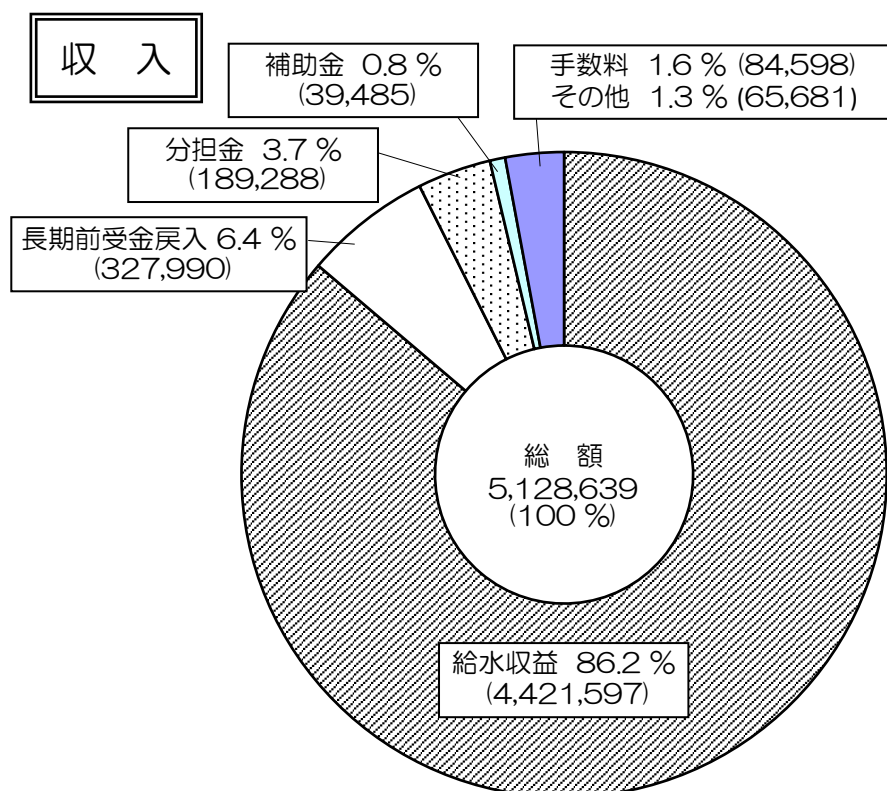
	令和4年度	令和3年度	増減	
			数値	率（%）
給水戸数（戸）	80,050	78,777	1,273	1.6
年間総配水量（m ³ ）	18,857,377	18,797,575	59,802	0.3
一日平均配水量（m ³ ）	51,664	51,500	164	0.3
（うち県用水）（m ³ ）	(49,626)	(48,575)	(1,051)	(2.2)
給水人口（人）	166,296	164,730	1,566	1.0
普及率（%）	87.9	87.3	0.6	

(2) 収益的収入及び支出予算構成図

◎収益的収入及び支出

(単位：千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	
			数 値	率 (%)
水道事業収益	5,128,639	5,211,863	△ 83,224	△ 1.6
水道事業費用	4,841,965	4,816,628	25,337	0.5
差 引	286,674	395,235	△ 108,561	



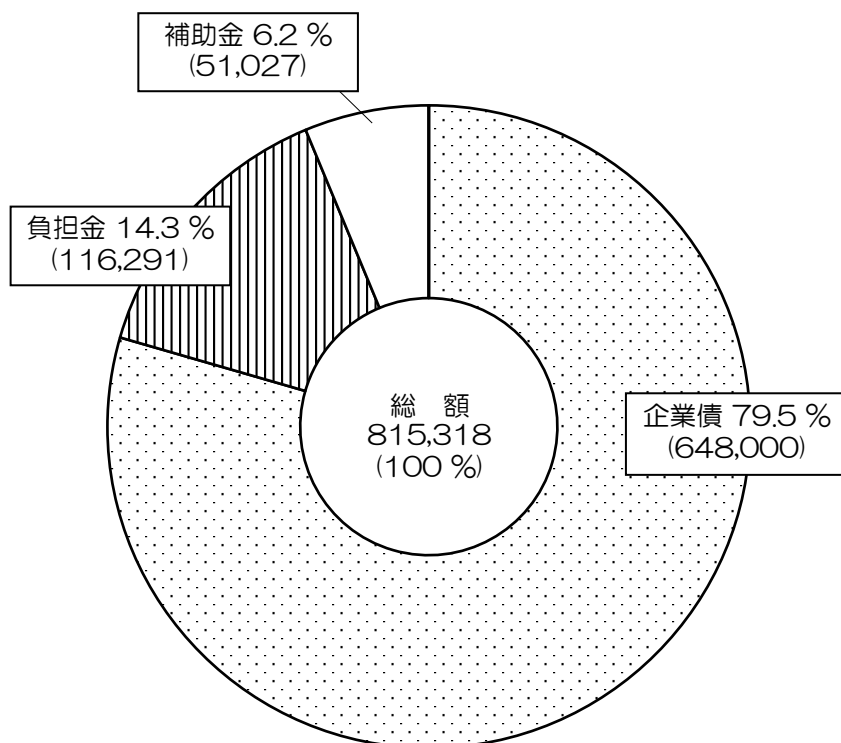
(3) 資本的収入及び支出予算構成図

◎資本的収入及び支出

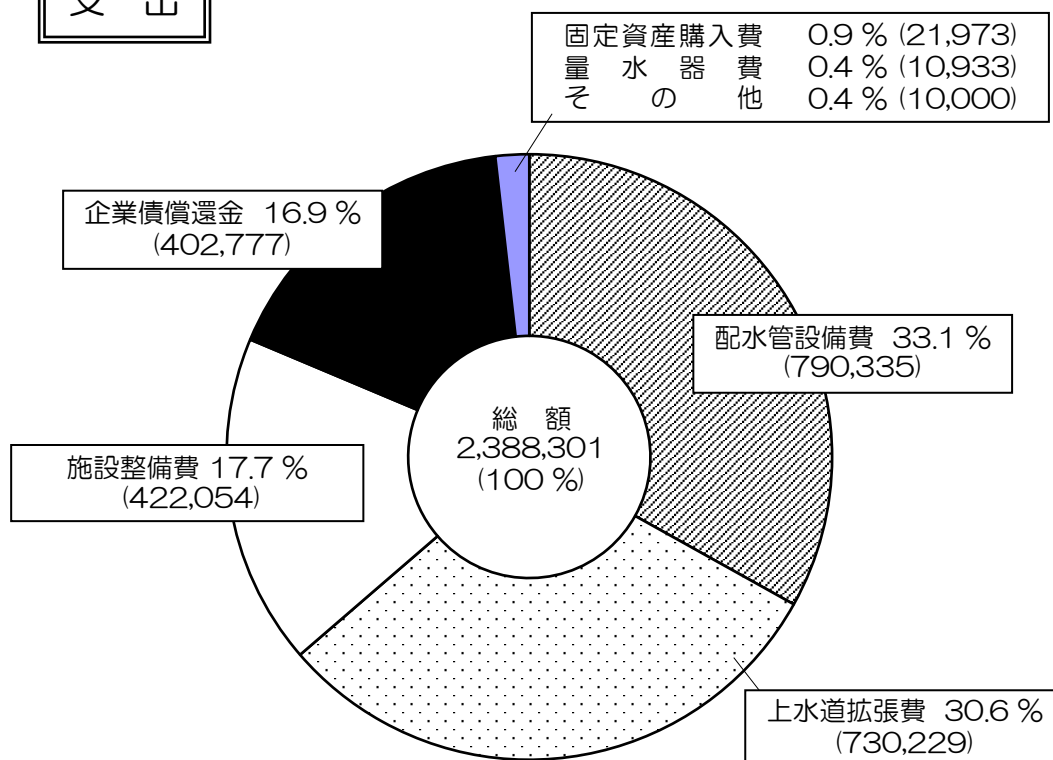
(単位：千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	
			数 値	率 (%)
資 本 的 収 入	815,318	148,082	667,236	450.6
資 本 的 支 出	2,388,301	1,488,502	899,799	60.4
差 引	△ 1,572,983	△ 1,340,420	△ 232,563	

収 入



支 出



令和4年度東広島市下水道事業会計予算（案）の概要

1 予算（案）の特徴

（単位：千円）

①下水道経営の健全化

下水道サービスを継続して安定的に提供していくため、経営の健全化を図ります。施設の適切な維持管理、使用料の収納率向上のための滞納整理、未接続者への普及啓発活動に取り組みます。

○ 処理場管理	1,475,535
○ 管渠・ポンプ場管理	168,371
○ 使用料徴収事務委託	84,426
○ 水洗便所改造資金貸付金	12,000

②計画的、効率的な施設の建設と更新

流入水量の増加に対応するため、引き続き東広島浄化センターの増設工事を行います。早期に未普及地域を解消するため、未普及解消整備計画に基づく汚水管渠整備工事を実施します。下水道サービスを継続して安定的に供給するため、ストックマネジメント計画に基づく施設の更新を計画的に進めます。

雨天時の不明水の流入が多いため、不明水対策として汚水管渠更生工事を行います。

○ 東広島浄化センター増設・改築工事	1,651,700
○ 東広島浄化センター改造設計	22,000
○ 汚水管渠実施設計業務	170,600
○ 汚水管渠建設工事	1,528,900
○ マンホールポンプ建設工事	19,900
○ スtockマネジメント実施設計	44,000
○ スtockマネジメント工事（污水施設）	672,000
○ 志和堀地区農業集落排水処理施設長寿命化工事	8,000
○ 板城地区農業集落排水管更生等改築工事	25,000

③災害に強い下水道の構築

安全・安心の確保のため、災害を未然に防止し、被害を最小限に食い止めるため、大雨時の浸水対策やストックマネジメント計画に基づく施設の更新など災害対策を推進します。

○ 雨水管渠実施設計業務	31,200
○ 雨水管渠建設工事	893,000
○ スtockマネジメント工事（雨水施設）	79,000
○ 西条地区浸水対策検討業務	23,000
○ マンホールトイレ設置工事	39,000
○ 黒瀬水質管理センター耐震診断業務	12,000
○ 管路施設耐震診断調査等業務	18,000

2 予算（案）の規模

（1）業務予定量

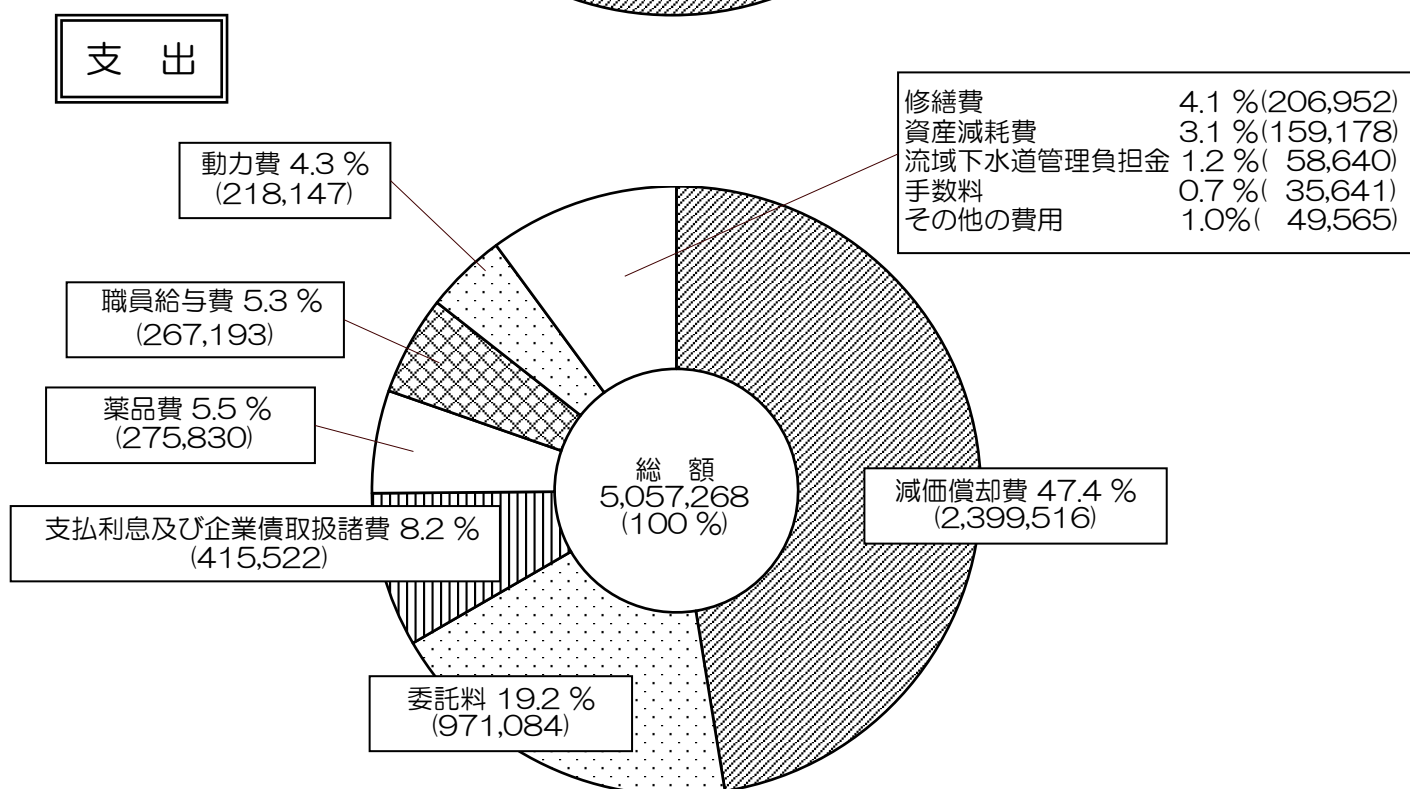
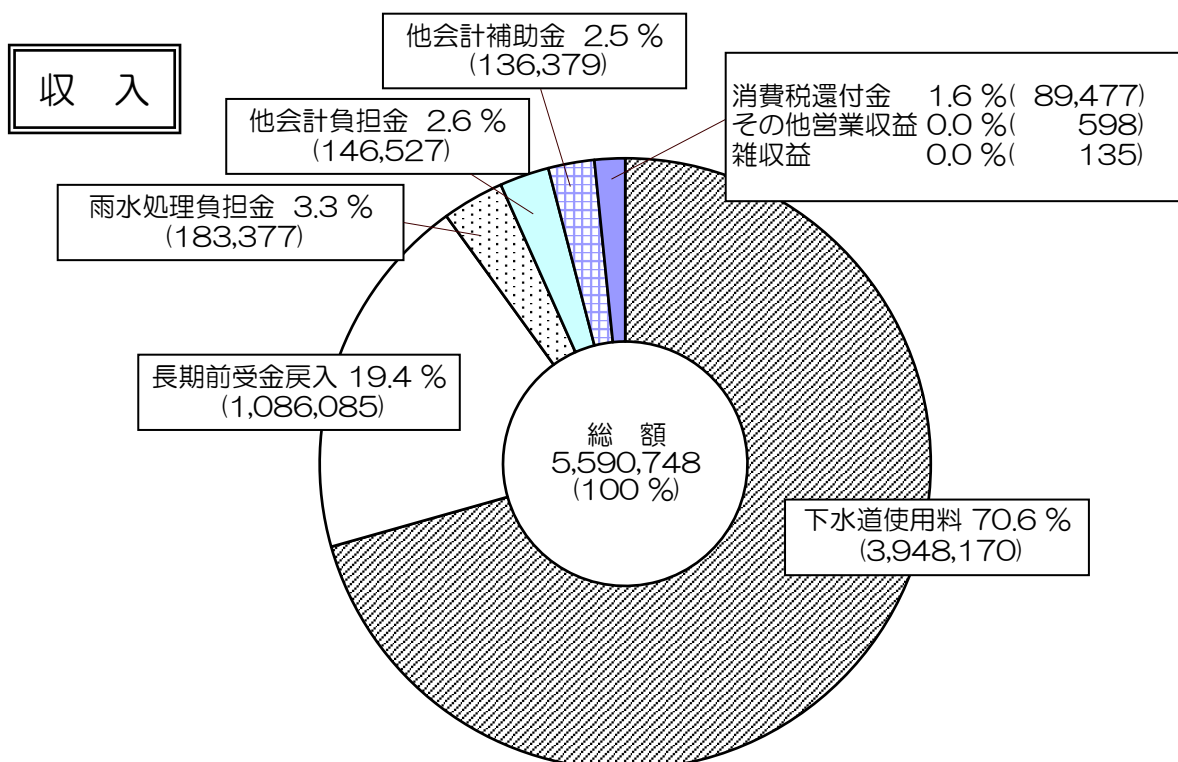
	令和4年度	令和3年度	増減	
			数値	率（%）
処理開始面積（ha）	2,365	2,350	15	0.6
年間総処理水量（m ³ ）	19,666,058	19,599,249	66,809	0.3
一日平均処理水量（m ³ ）	53,880	53,697	183	0.3

(2) 収益的収入及び支出予算構成図

◎収益的収入及び支出

(単位：千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	
			数 値	率 (%)
下水道事業収益	5,590,748	5,320,242	270,506	5.1
下水道事業費用	5,057,268	5,089,129	△ 31,861	△ 0.6
差 引	533,480	231,113	302,367	



(3) 資本的収入及び支出予算構成図

◎資本的収入及び支出

(単位：千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	
			数 値	率 (%)
資 本 的 収 入	5,677,709	5,012,274	665,435	13.3
資 本 的 支 出	7,364,958	6,617,626	747,332	11.3
差 引	△ 1,687,249	△ 1,605,352	△ 81,897	

